

# NEO ZEON MOBILE SUIT MSN-06S SINANJU "Ver.Ka"

SP. NO. / MODEL NUMBER: MSN-06S  
HEIGHT: 22.6m WEIGHT: 23.5t GENERATOR OUTPUT: 3240kw MATERIAL: GUNDARIUM ALLOY  
ARMAMENTS / VULCAN GUN×2 BEAM CANNON×1 BEAM SABER×2 BEAM AXE×2 GRENADE LAUNCHER×1 SHIELD×1  
CONSTRUCTOR: ANAHEIM ELECTRONICS

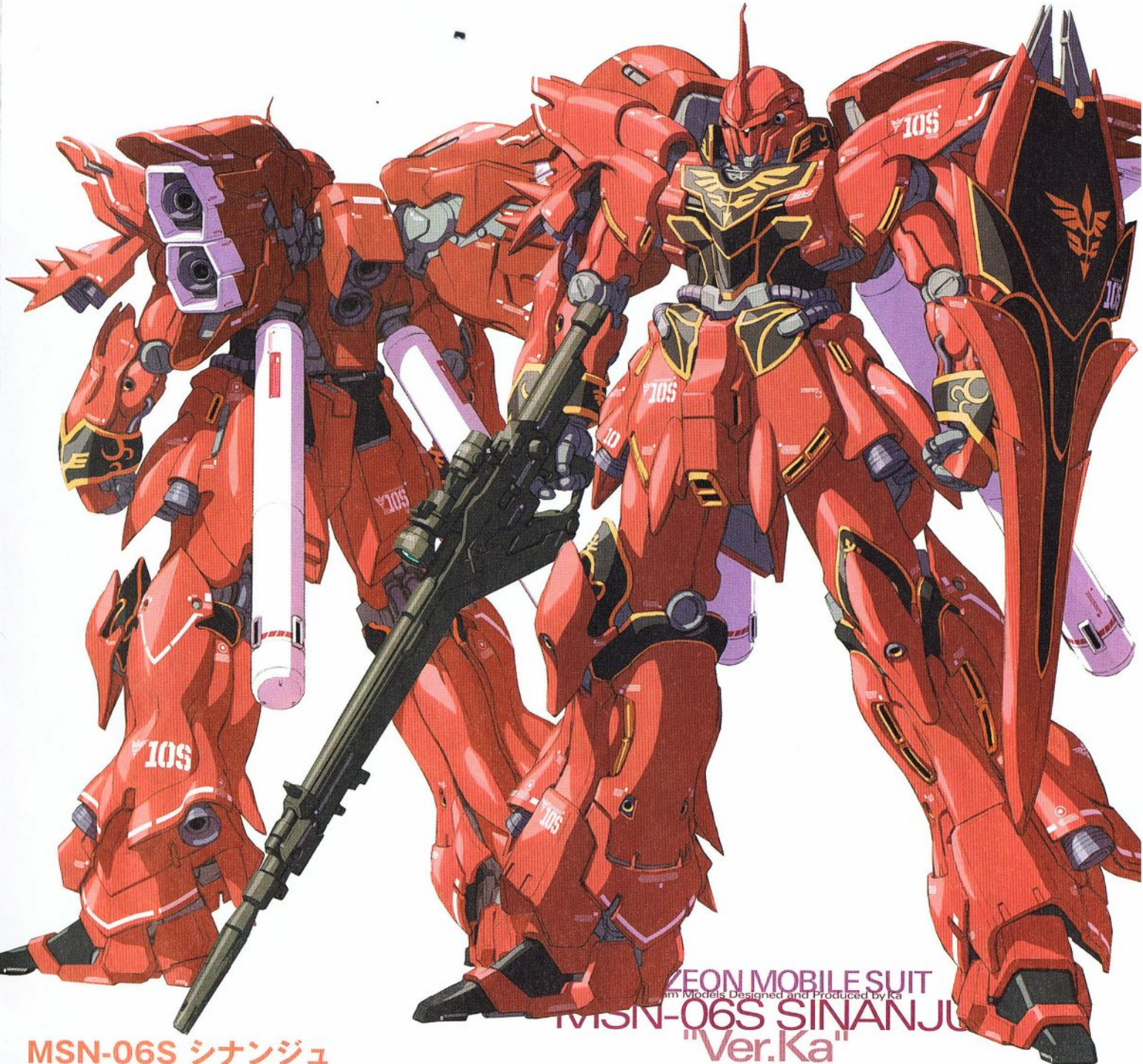


MOBILE SUIT CUSTOMIZED FOR NEWTYPE  
U.C.0094 VERIFICATION MODEL FOR PSYCHO FRAME

BANDAI 2008 MADE IN JAPAN ※パッケージの写真・イラストと商品とは、多少異なりますのでご了承ください。 ※写真の完成品は塗装してあります。



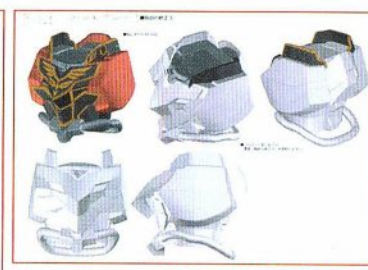
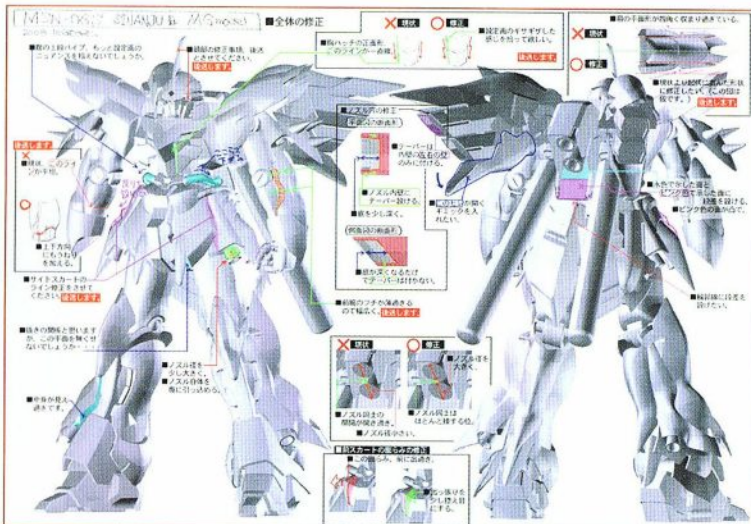




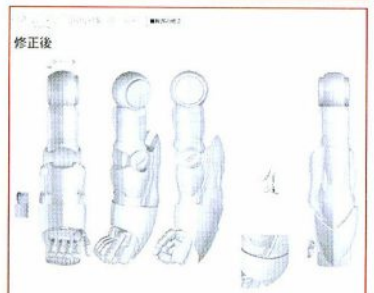
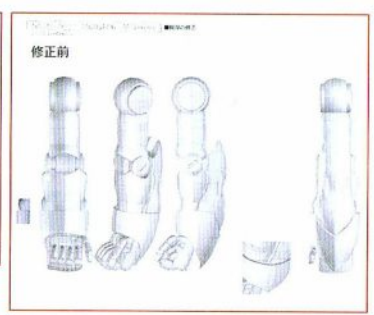
ZEON MOBILE SUIT  
Models Designed and Produced by Ka  
**MSN-06S SINANJU**  
**"Ver.Ka"**

## MSN-06S シナンジュ

■全高：22.6m ■本体重量：25.2t/ネオ・ジオン残党「袖付き」をまとめるフル・フロントルがパイロットとなるモビルスーツ（MS）。「シャアの再来」とも呼ばれるフロントルが乗り込むことを意識し、全身を真紅で包み、紋章など装飾が施されている。羽根を思わせる背部の大型推進器や、機体各所に設置されたスラスターは、驚異的な機動力を生み出すためのもので、シナンジュの特徴でもある



↑胸部ブロック。ジオンの紋章など模様塗分けが提案されている。基本ブロックの構成は、連邦系MSのものに似ている



→腕部の修正前（右上）と修正後（右下）。腕部はほぼ曲面でできあがっていることがわかる。修正では上腕をボリュームアップ、前腕の曲面にも肉付けし、有機的なラインに仕上げている。袖口も鋭角なラインを描いている。マニピュレーターは、ジオン系MSらしく、丸みを帯びたデザインだ

↑全身のCADデータ。カトキハジメ氏による各部の修正指示が描き込まれている。前腕の「うねり」やサイドスクートの「そり」、胸部装甲の面構成にも細かな修正を提案している。設定画のニュアンスを極力、模型に反映するため、平面的、直線的になりがちなラインを、起伏に富んだ表情あるものに仕上げている。このようにカトキ氏とバンダイ ホビー事業部 開発部との間で緊密なやりとりが続けられた



# NEO ZEON MOBILE SUIT MSN-06S SINanju Ver.Ka

Gundam Models Designed and Produced by Ka



◆前腕の装甲から、ビーム・サーベルを展開させるギミックも内蔵している

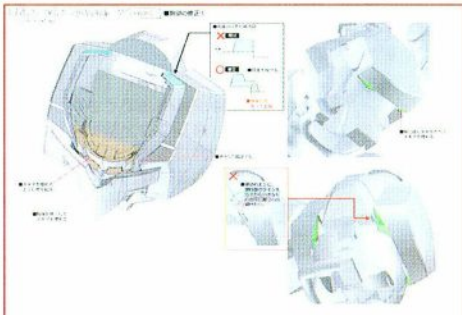
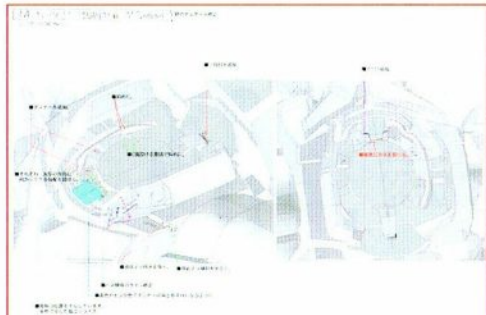
◆襟元のディテール修正のほか、襟の装甲と紋章が付いた装甲とに生じた隙間を埋めるため、形状の修正も指示されている

◆連邦系とジオン系の特徴がミックスされた頭部。シナンジュの出自を最もよく表わしている



◆同スケールのフル・フロントルのフィギュアは立ちと座り姿の2種類が付属

◆ビーム・アックスは連結してナギナタとしても使用可能



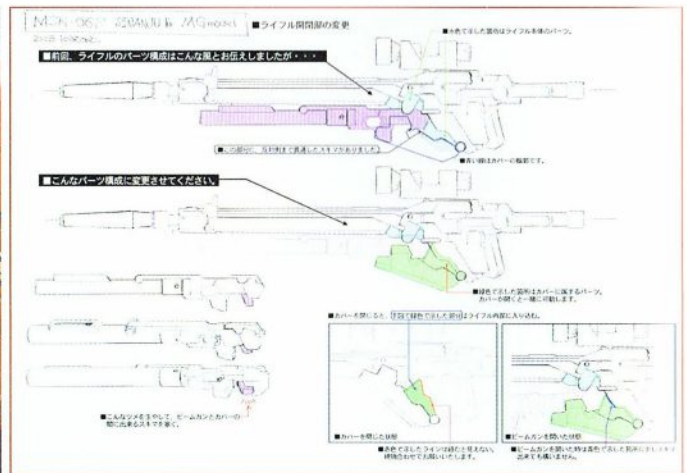
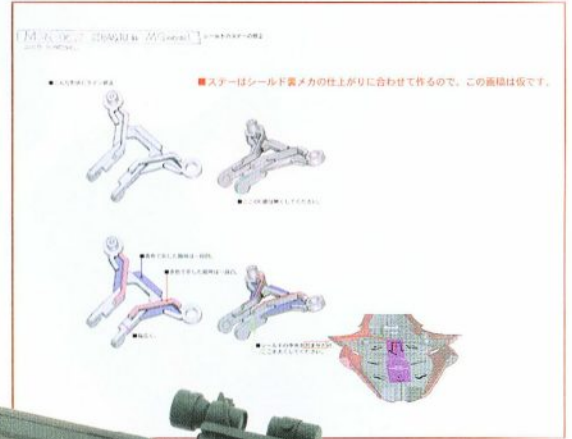
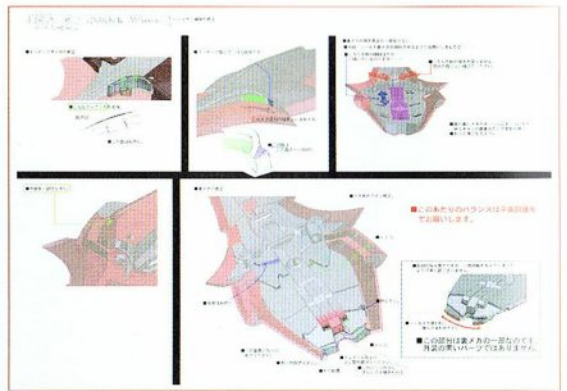


専用シールドは、剣の切っ先から流麗なカーブを描いてラインが伸び、本体をつくりだしているかのようなデザイン。ジオンの紋章や金のモールドは、付属のシールドで再現できる。スペシャルオプションとして同形状のスライドマークも付属する



裏面は、グレネード・ランチャーを装着できるほか、ビーム・アックスを装着・展開可能なマウントアームを装備している

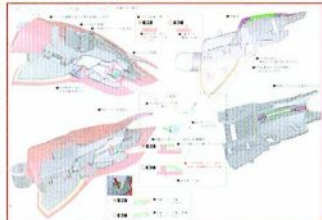
細身で長めのバレルをもつビーム・ライフル。シールドに装備するグレネード・ランチャーを、バレル下部へ取り付けることもできる



ビーム・ライフルおよびグレネード・ランチャーの側面。グレネード・ランチャーはグリップカバーを展開して装着する。修正指示の画稿では、装着によって生じる各部の隙間を、ディテールの追加やカラーのライン変更で解決するよう提示している

シールド裏のマウントアームにビーム・アックスを装着

脚部では、デザインラインの修正や、ノズルの大型化、裾の断面形状の修正、ディテールの追加を提示している。  
 スネ裏の上段アーマーは、上へはね上がるギミックを追加。アーマーも複雑なラインで構成されている。下段のアーマーも修正、ノズルも追加された。  
 肩の内部フレームに修正を指示した画稿。横から見たパーツ同士の位置関係や、フレームのフチの処理がわかる



## 「機動戦士ガンダムユニコーン」

「シャアの叛乱」から3年が経過した宇宙世紀0096年、沈黙化を迎えた地球圏に、新たな火種が灯ろうとしていた。「……『ラプラスの箱』を開ける時が来たのだ」——開放されれば、「本来、そうあるべきだった未来を取り戻す」力を、使い方によっては現行の地球連邦政府を転覆させるほどの「何か」を秘めた「ラプラスの箱」。その「箱」への道程を示し、「鍵」となるのがMSユニコーンガンダム。ユニコーンの乗り手となったバナージ・リンクスは、地球連邦政府、ネオ・ジオン軍残党をも巻き込んだ「箱」争奪の渦中の人となる。「ラプラスの箱」の正体とは？ 21世紀の宇宙世紀神話が今、始まる。





# 可能性を摘み取る紅「シナンジュ」

Interview ; Harutoshi Fukui / Katoki Hajime

単行本が累計100万部を超える一大ガンダム・エンターテインメント作品となった小説「機動戦士ガンダムUC (ユニコーン)」。そのシンボル「ユニコーンガンダム」に続き、宿敵となる「シナンジュ」もMG Ver.Kaでプラモデルキット化。紅きMSの全貌を、著者の福井晴敏氏とメカデザインのカトキハジメ氏にうかがった。

福井「ユニコーンガンダムが『可能性の獣』なら、シナンジュは現実を突き付けて絶望へと誘う『可能性の破壊者』です。乗っているフル・フロントルからして、“シャアを彷彿とさせる仮面キャラが『ガンダム』に出る”という発想そのものがもう保守的でしょう。フロントルはネオ・ジオンという改革派のトップであるに拘わらず、閉塞した世界を変えていこうとする主人公にとって、実はいちばんの障害になる存在です。そんな後ろ向きな大人たちに対して、主人公たちが組み伏せるのか、あるいは組み伏せられてしまうのか。その部分がユニコーンガンダムとシナンジュの対決に象徴されていくでしょう」

「機動戦士ガンダムUC」の著者・福井晴敏氏は、主役MS・ユニコーンとそのライバル、シナンジュをそう位置づける。真紅に彩られたシナンジュのデザインを福井氏が初めて目の当たりにしたとき、物語を始めるうえでの確かな勝算を得たという。

福井「カトキさんには、“連邦から奪取されたサイコフレーム実験用の機体”『シャアの再来』が乗る”という設定をお伝えしただけで、ほぼこのデザインが上がってきました。カトキさんの仕事は、ひとつのひとつのデザインももちろんですが、同一勢力のMSで並べたときの統一感やキャラクター性といったものが際立っていて、世界観を構築する手助けとなっています」

カトキ「『ガンダムUC』は『逆襲のシャア』から

3年後のお話ですが、ネオ・ジオンがあの総力戦の後、MSをすべてプランニューのテクノロジーで揃えるのは、当時の情勢ではちょっと難しいでしょう。外見がガラリと変わりつつも、まったくの新世代ではない。これらをクリアする要素として“装飾”をデザインに取り入れました。胸にあるジオンの紋章や袖口の模様は彼らネオ・ジオンの懐古主義的な部分を表わしています。今回のシナンジュのキットでは、部隊No.や白いラインなどのマーキングもデカルシールで再現できます。これらもファーストガンダムやMSV時代のデザインを取り入れたものです。現実の歴史でも、国が行き詰まってくると、自分たちのルーツとして昔のものもちだしてくる傾向が見られます。そういった気風は、『ガンダムUC』でのネオ・ジオンの人たちの背景にも当てはまるものだと思います」

シナンジュが頭部にいただく“ツノ”も往年のシャアザクを彷彿とさせる意匠だ。過剰なデコラティブさはなく、ネオ・ジオンがもつ復古調のイメージが漂う。ユニコーンの一本角が“可能性”のシンボルであることに対し、シナンジュのツノは保守性を具現化したデザインとして捉えることもできる。ユニコーンとシナンジュ、2つのMSがもつツノもまた対極な意味を内包しているのかもしれない。

そんな復古調の象徴として存在するシナンジュだが、歴代の赤いMSと比べると、プロポーシオンは頭身が高く、かなりスマートだ。

カトキ「これまでの敵方であつライバルとなる

MSは大きくて重いイメージでした。この時代ですでにサザビーやαアジールが登場していますから、同じヘビー級の延長線上でデザインしても、2・3番手になってしまいます。それにユニコーンと同様、シナンジュは映像化や模型化をひとまず考えないで自由にデザインできる機会でもありました。そんなチャレンジ的な意味合いも込めて、シナンジュは頭身の高いスマートなプロポーシオンに、ジオン系MS特有のラインをさらに推し進めた曲線でまとめ上げていきました」

模型の設計ではハードルの高い、絶妙なニュアンスをもつ曲線で構成されたシナンジュ。しかし可能性を押し広げるには、限界領域を超える必要がある。ユニコーンと同様、カトキ氏はシナンジュのMG Ver.Ka化でもホビー事業部 開発陣とていねいなやりとりを重ねていくことで、頂をさらに越えた理想の形をつくりだしていった。

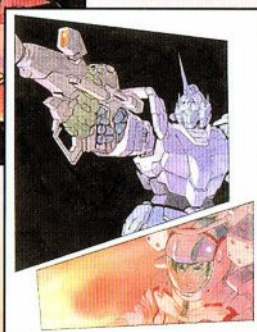
福井「ひとつのデザインに対してかかっているカロリーって、素人ながらもわかるんですよ。それだけ力が入った『作品』をいただくわけで、それを疎かにはできないと思っています。大切な子供を預かるような感覚ですね。それを念頭に劇中ではMSを動かしています。それは立体的展開でもいえることで、多くの人の手を経て生みだされたものですし、また読者の方がせっかく手にとってもらえた物なわけですから、その甲斐を感じてもらえるように、これからも大いに活躍させていこうと思っています」

## ユニコーンガンダムとシナンジュ

シナンジュはU.C.0094年にアナハイム・エレクトロニクス社から「袖付き」が強奪した試作MSを改修したものである。本来の目的はRX-0ユニコーンガンダムに搭載されたNT-Dの実験であった。そのムール・フレームの一部にはデータ収集の目的でサイコ・フレームが使用されている。後に、得られたデータを基にユニコーンが完成されることになる。2年後、兄弟ともいえる2機は数奇なめぐり合わせから、敵同士として相まみえる。



◀⇄左：シナンジュとフル・フロントル。下：ユニコーンガンダムとバナーズ・リンクス。幾度も戦った両機だが、今のところ技量は圧倒的にフロントルが勝る



## サイコ・フレーム

それ自体にサイコミュの機能を有した特殊合金。コンピュータ・チップを極限にまで小型化、金属粒子レベルでフレームに鑄込まれている。サイコ・フレームの使用でマシンと人の間に高度なインターフェースを実現できる

## サイコ・フレーム実験機の系譜



シナンジュは実験機であるが、機体へのサイコ・フレームの使用率はvガンダム以上だろう。驚異の機動性はサイコ・フレームの恩恵か？

シナンジュからのデータをフィードバックし、UC計画の中核をなす「NT-Dシステム」は完成した。それを搭載したのがユニコーンガンダムである

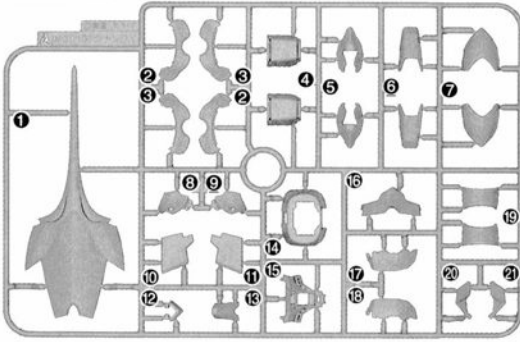
サイコ・フレームはRX-93 vガンダムに使用されていたが、地球連邦軍にとっては未解明の機能も多く、未知の素材であった。そのため改めてデータを収集すべく開発したのが後にシナンジュとなる試作MSであった



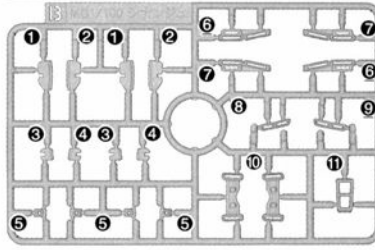
# パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

Aパーツ (スチロール樹脂: PS)

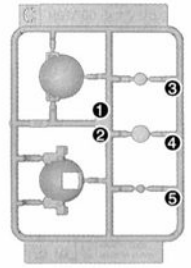


Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



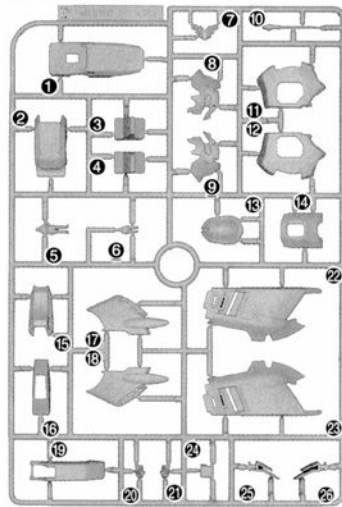
Cパーツ

(スチロール樹脂: PS)

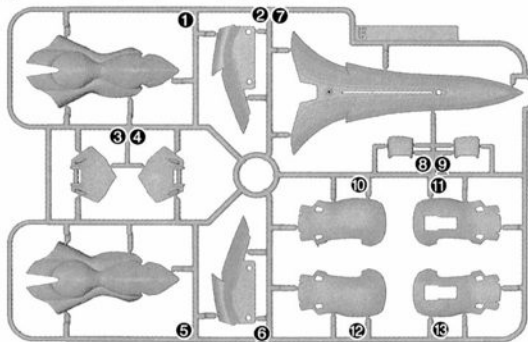


Dパーツ (スチロール樹脂: PS)

アンダーゲート有り

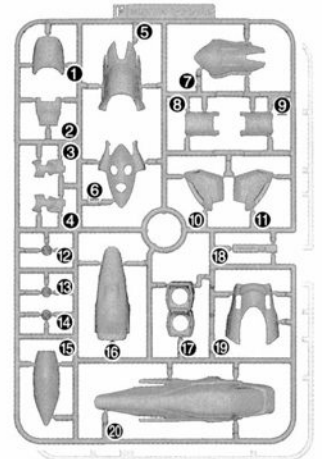


Eパーツ (スチロール樹脂: PS)



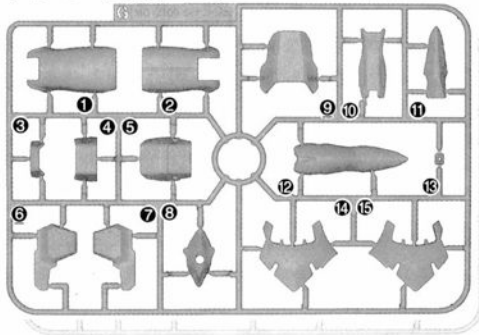
Fパーツ (× 2)

(スチロール樹脂: PS)



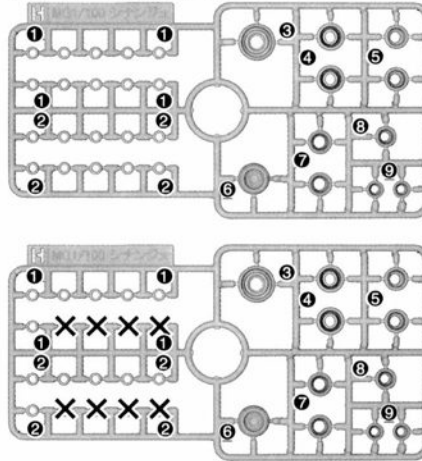
Gパーツ (× 2)

(スチロール樹脂: PS)



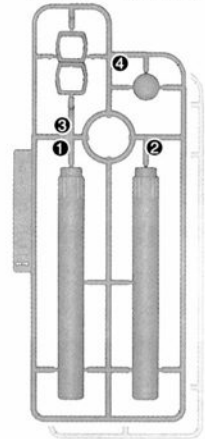
Hパーツ (× 2)

(スチロール樹脂: PS)



Iパーツ (× 2)

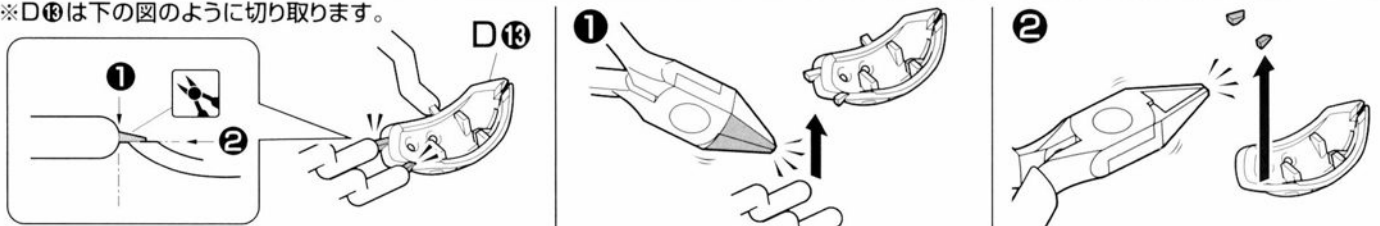
(スチロール樹脂: PS)



## アンダーゲートの切り方

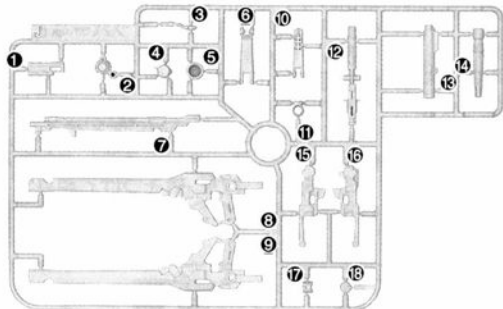
▶ アンダーゲートマークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※ D13は下の図のように切り取ります。

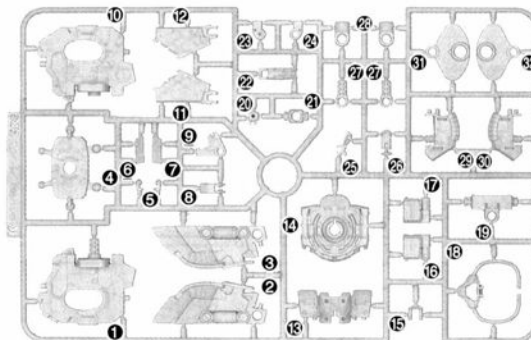




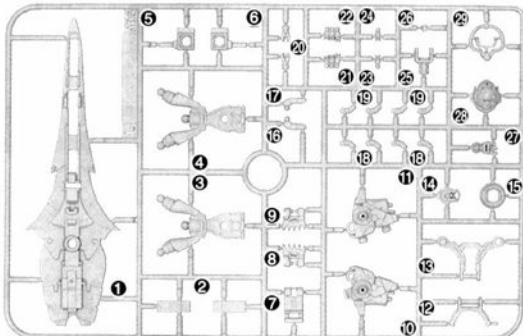
Jパーツ (スチロール樹脂: PS)



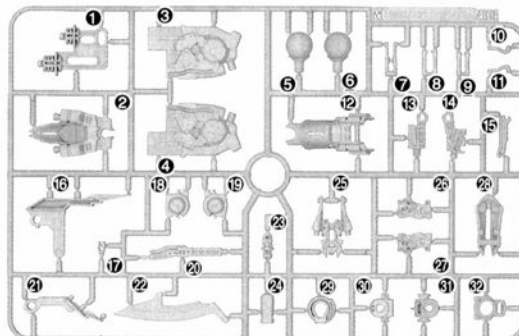
Kパーツ (ABS樹脂: ABS)



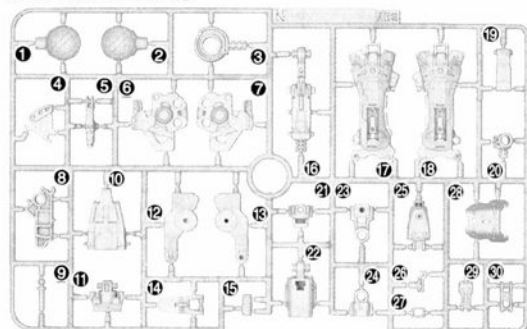
Lパーツ (ABS樹脂: ABS)



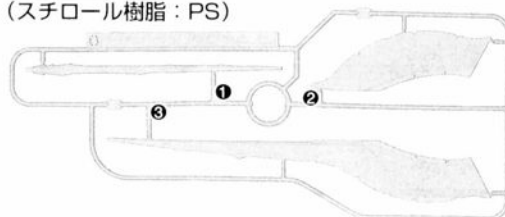
Mパーツ (×2)  
(ABS樹脂: ABS)



Nパーツ (×2)  
(ABS樹脂: ABS)



Oパーツ (×2)  
(スチロール樹脂: PS)



- カラーシール……………1枚
- ガンダムデカール……………1枚
- 水転写式デカール……………1枚
- ハイブスプリング……………4本

《お買い上げのお客様へ》部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号/番号/数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書(裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。)にて下記までお申し込みください。なお、やむをえず部品注文カードをご使用できない場合には発送が遅れる場合がございます。ご了承ください。又、部品注文カードはコピー(拡大含む)での使用も可能です。代金は、料金表通りです。定額小為替は無記入(白紙)で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じることがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求、表記額以下の時には残額をお返しいたします。また、在庫がない場合には注文をお断りする場合がございます。その際は、お送り頂きました代金(為替)を返送いたします。但し、それ以外に掛かった手数料等は、お客様負担になりますので、ご了承の程、何卒よろしくお願い致します。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。ご購入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用いたしません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくは<http://bandai-hobby.net>より▶お客様へ■部品注文「部品が必要になったらこちらのページをご覧ください。」の所をクリックしてください。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター  
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12  
TEL 054-208-7520

・電話受付時間 月～金曜日  
(祝日を除く) 10時～16時  
・電話番号はよく確かめてお間違いのないようにご注意ください。

《料金表》●部品代、送料は切り取った1個の料金です。

部品番号	取扱説明書	デカールセット	カラーシール	A●・E●・L●・O●	その他
部品代	150円	1200円	500円	各100円	各60円
郵送料	200円	140円	120円	140円	120円

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード

0156877

1/100SCALE MGシリーズ  
MSN-06S シナンジュ (Ver.Ka)

必要な部品の記号・番号・数量をかき

●注文された理由(○で囲む)(こわした/なくした)

・日中ご連絡可能な電話番号 ・年齢  
( ) ( ) ( 才)

R2044012

'08.12

2008.12/T・ON

※コピー使用可



# 注意

## 必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

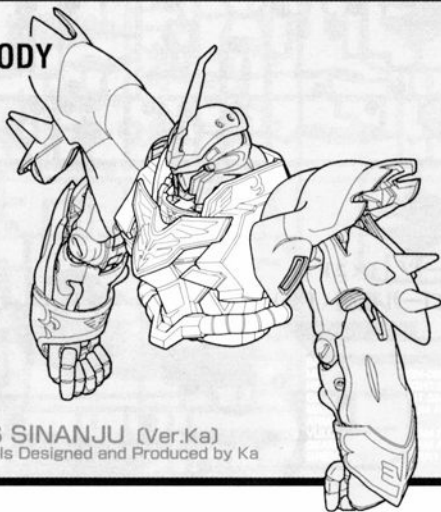
## 〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。



※カラーシールと水転写式デカールは選択式です。水転写式デカールは上級者向けとなっておりますので、不慣れな方はカラーシールをおすすめします。

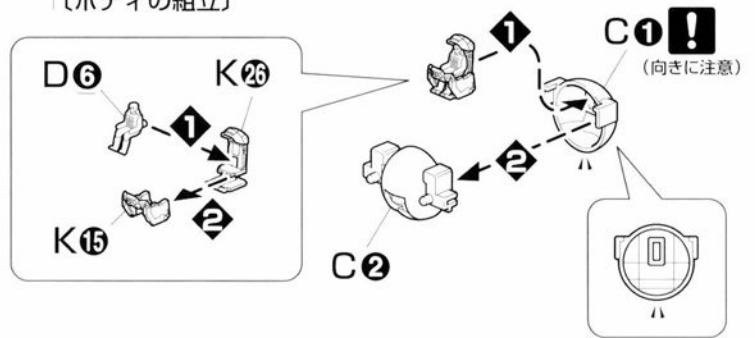
## 1 BODY



MSN-06S SINANJU (Ver.Ka)  
Gundam Models Designed and Produced by Ka

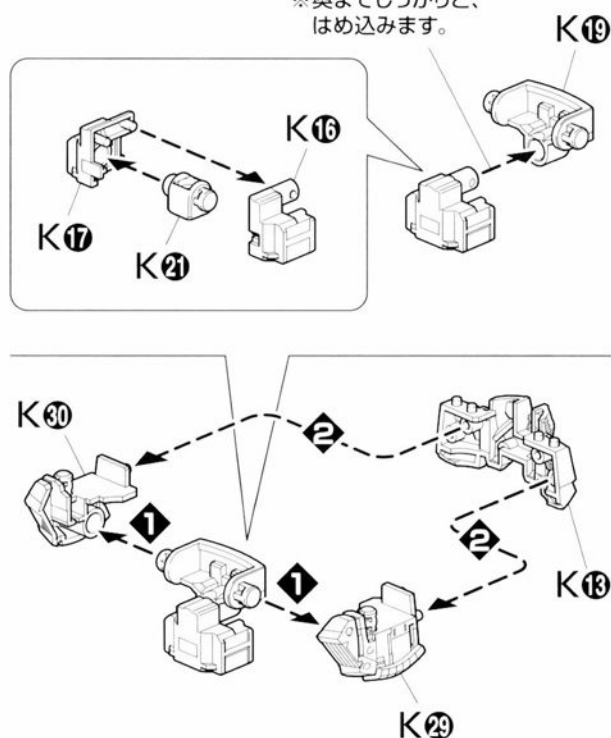
## 1-1 BODY

〔ボディの組立〕

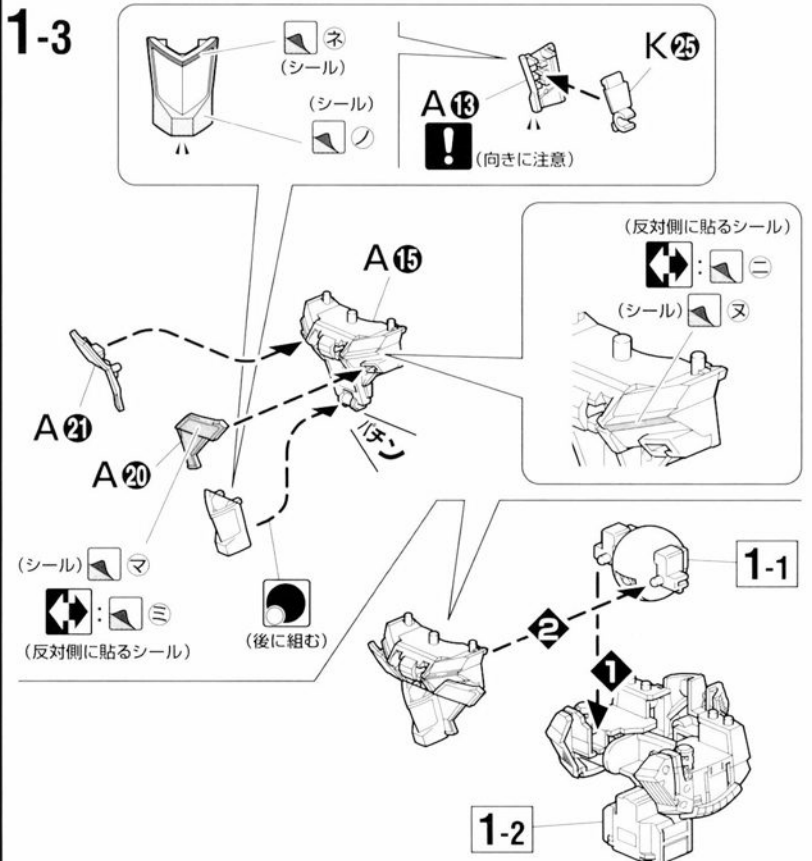


## 1-2

※奥までしっかりと、はめ込みます。

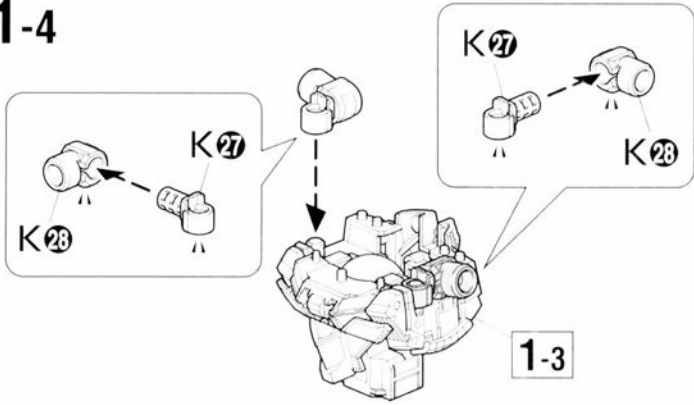


## 1-3

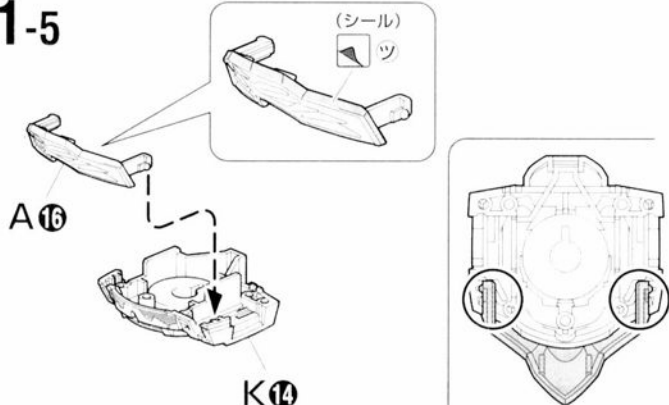




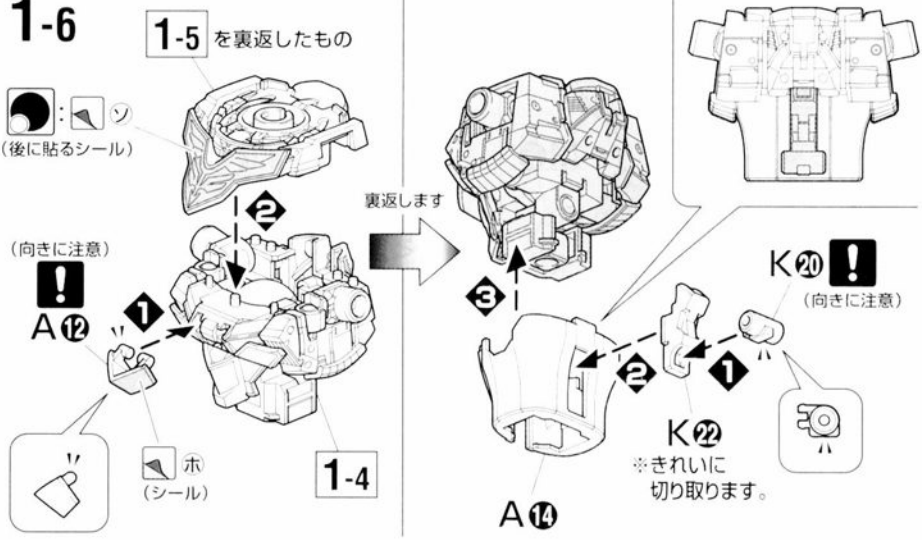
# 1-4



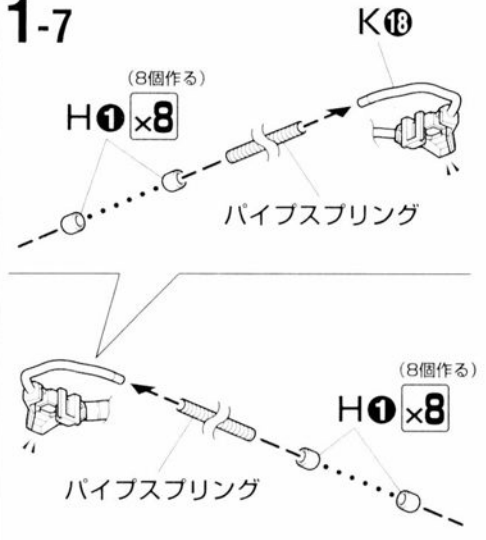
# 1-5



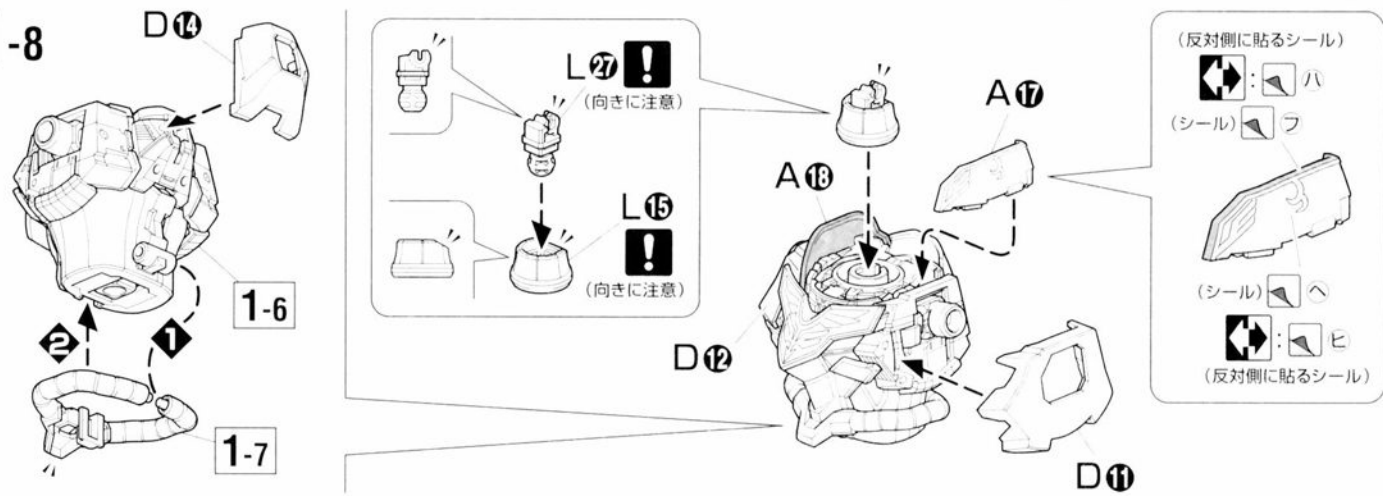
# 1-6



# 1-7



# 1-8

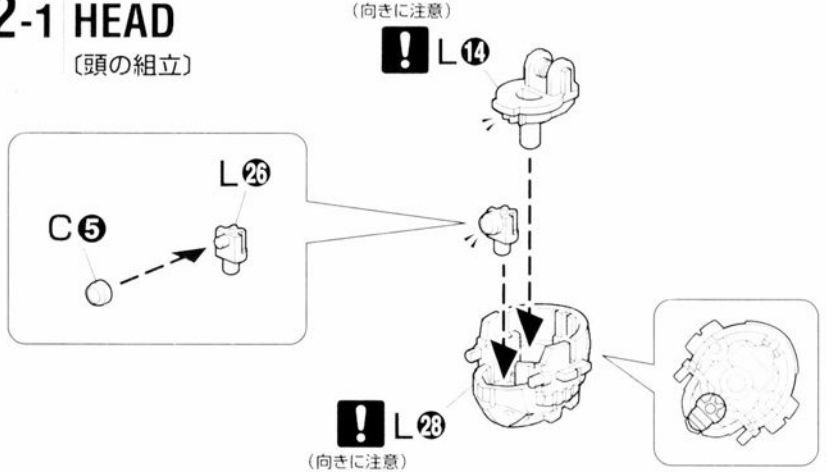


## 2 HEAD



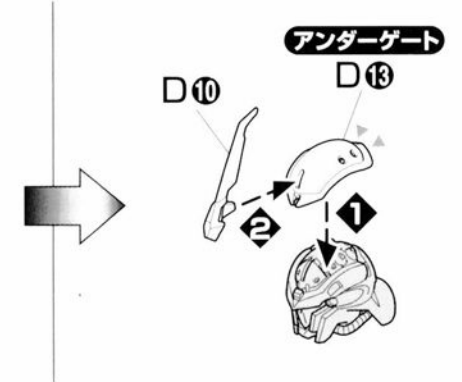
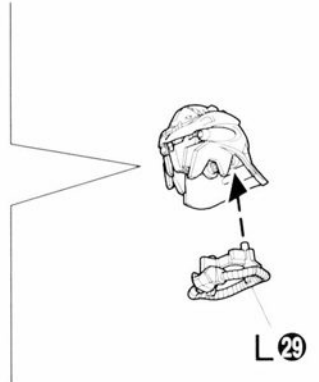
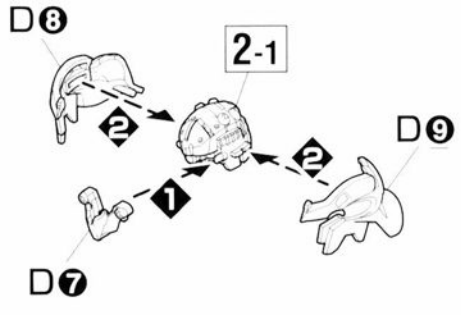
## 2-1 HEAD

(頭の組立)

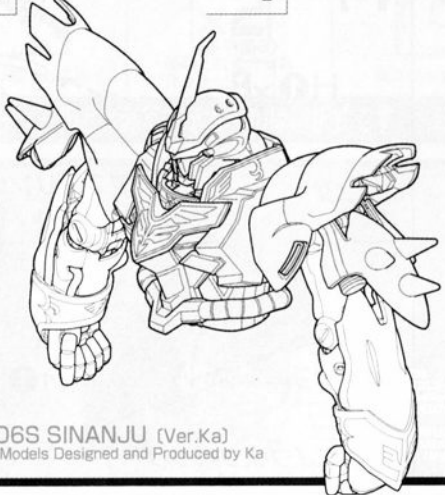




## 2-2



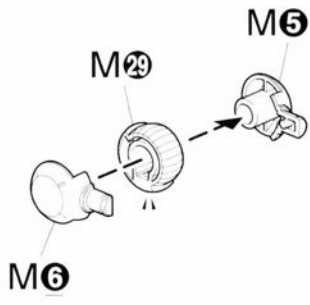
## 3 RIGHT ARM 4 LEFT ARM



MSN-06S SINANJU (Ver.Ka)  
Gundam Models Designed and Produced by Ka

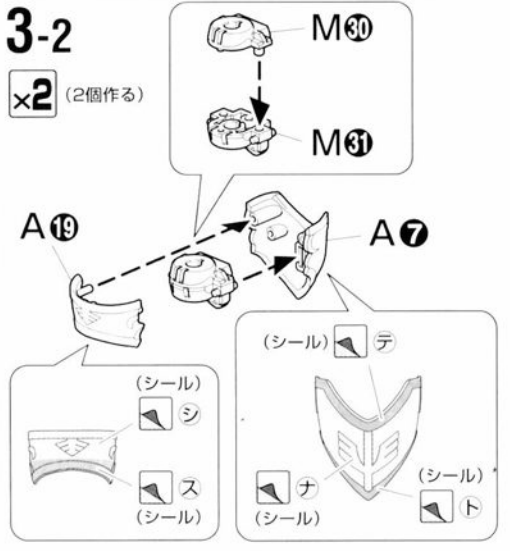
## 3-1 ARMS 〔腕の組立〕

×2 (2個作る)



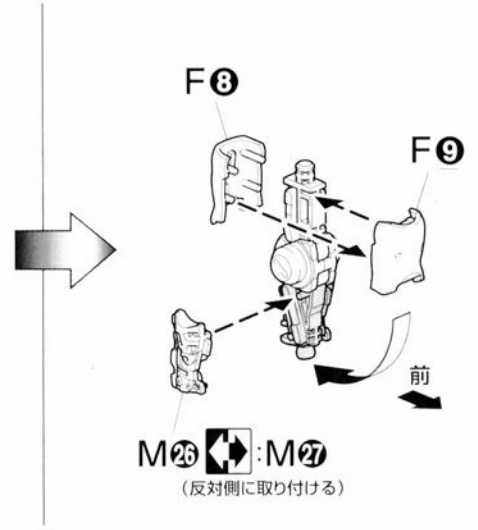
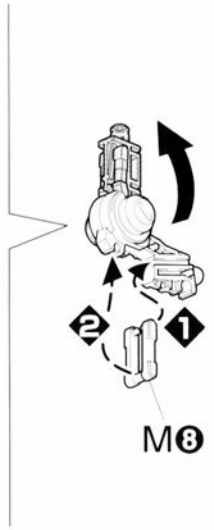
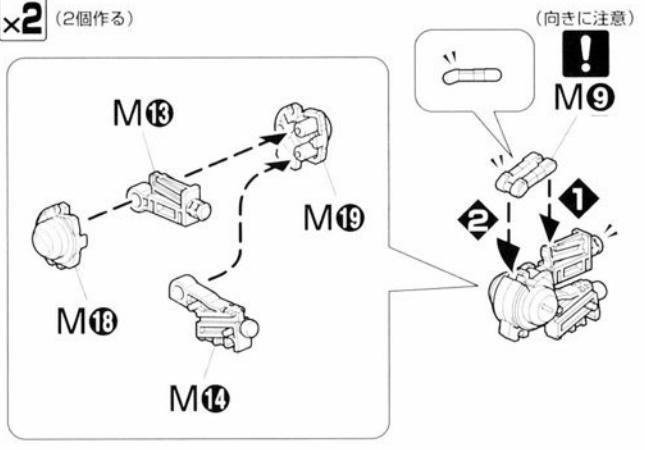
## 3-2

×2 (2個作る)



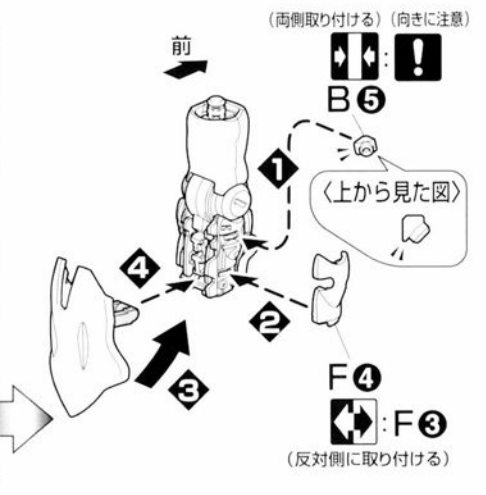
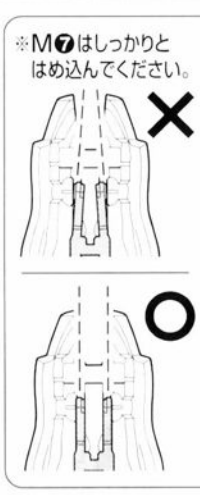
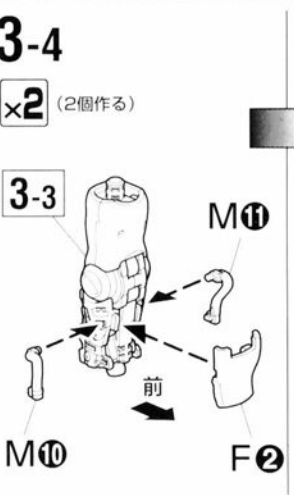
## 3-3

×2 (2個作る)



## 3-4

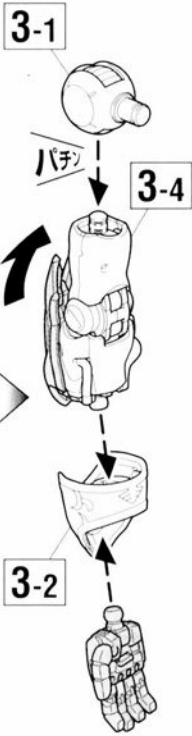
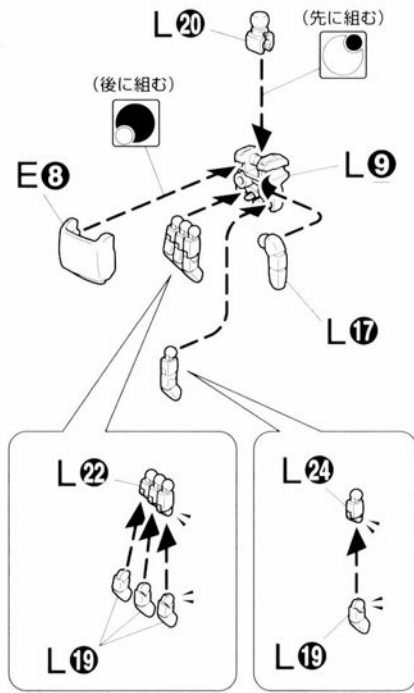
×2 (2個作る)





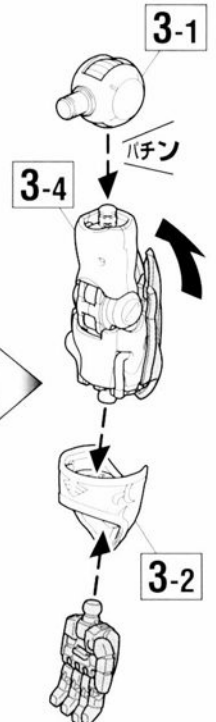
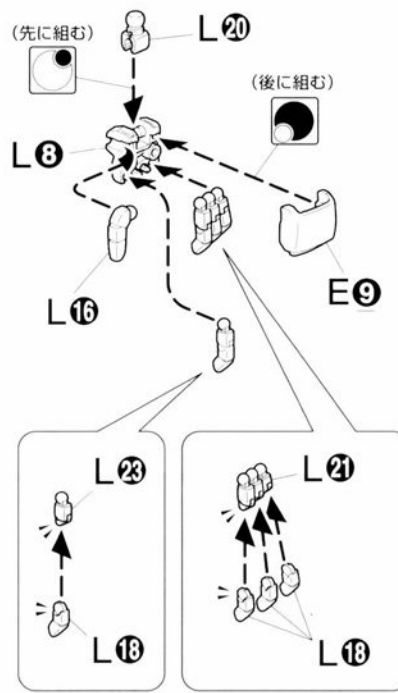
### 3-5 RIGHT ARM

(右腕の組立)



### 4 LEFT ARM

(左腕の組立)



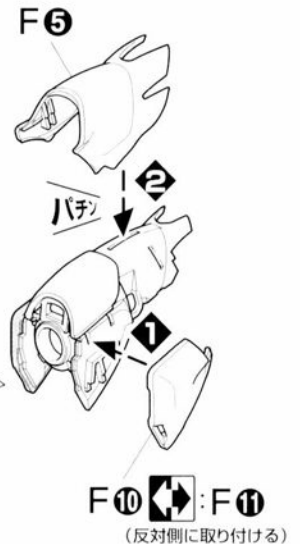
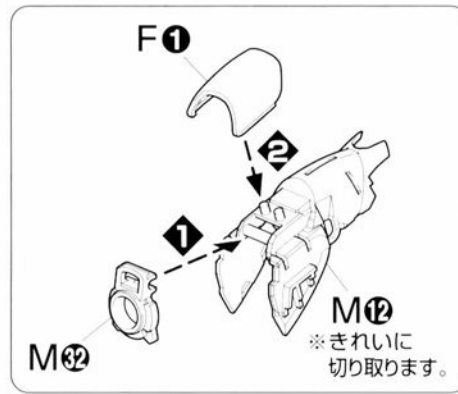
### 5 UPPER BODY



### 5-1 UPPER BODY

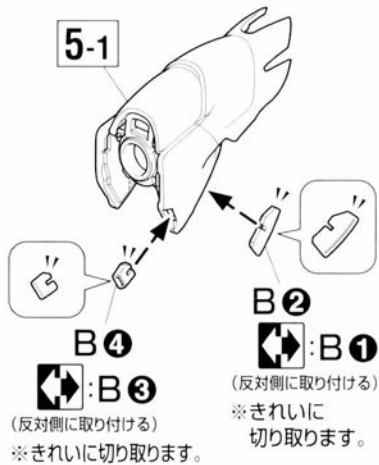
(上半身の組立)

x2 (2個作る)



### 5-2

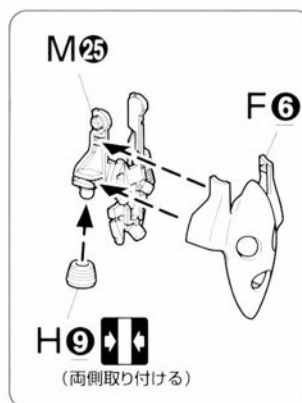
x2 (2個作る)



### 5-3

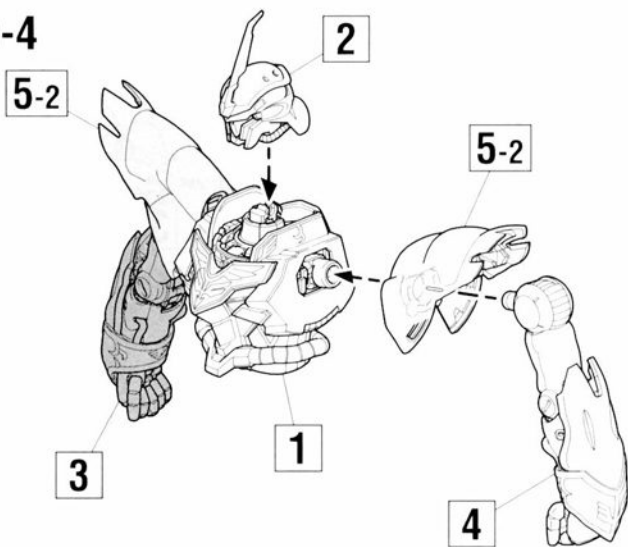
x2 (2個作る)

※各パーツはきれいに切り取ります。





### 5-4



## 6 RIGHT LEG

## 7 LEFT LEG

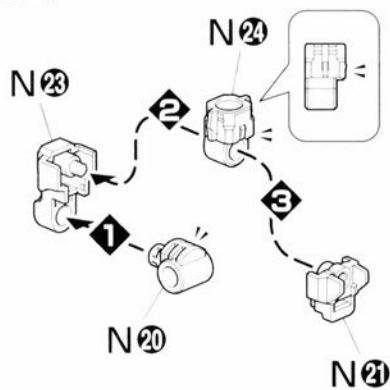


MSN-06S SINANJU (Ver.Ka)  
Gundam Models Designed and Produced by

### 6-1 LEGS

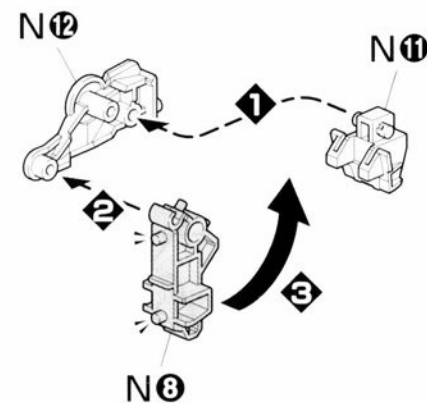
(脚部の組立)

×2 (2個作る)



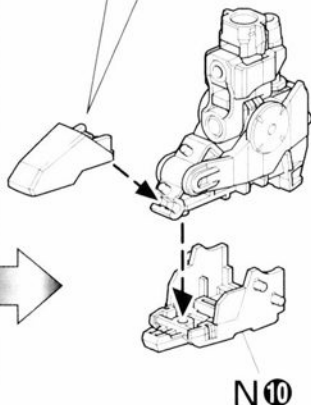
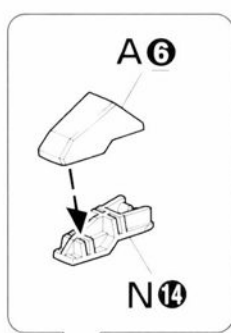
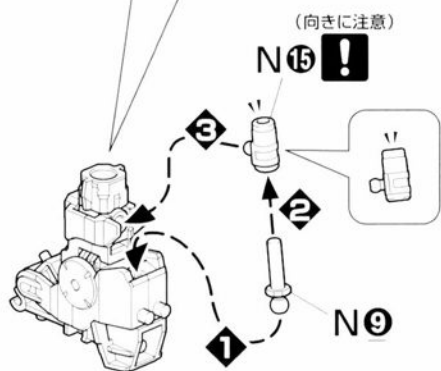
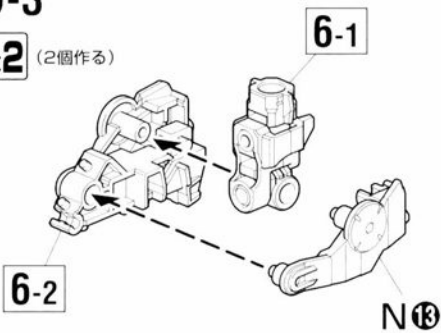
### 6-2

×2 (2個作る)



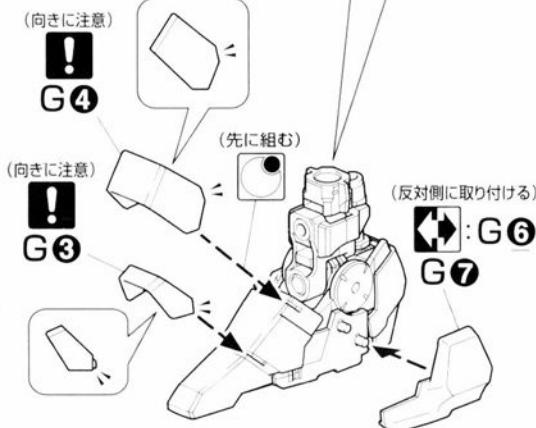
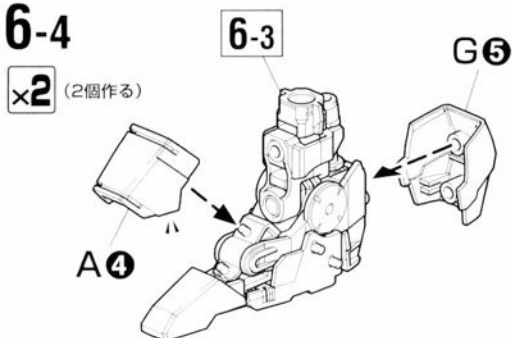
### 6-3

×2 (2個作る)



### 6-4

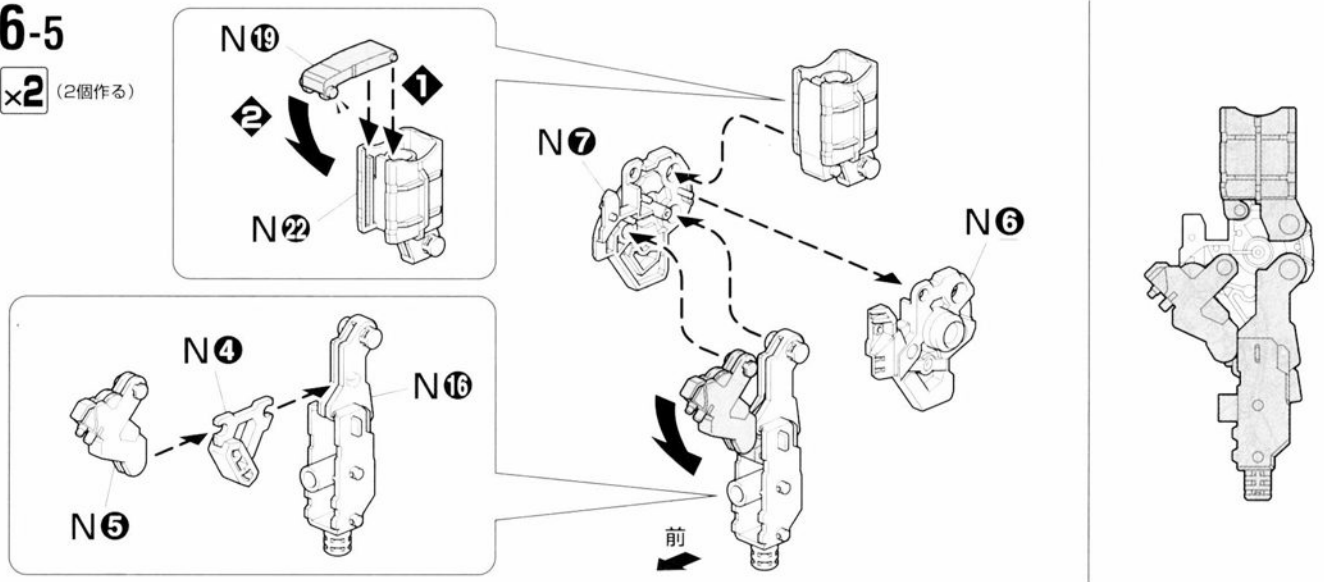
×2 (2個作る)





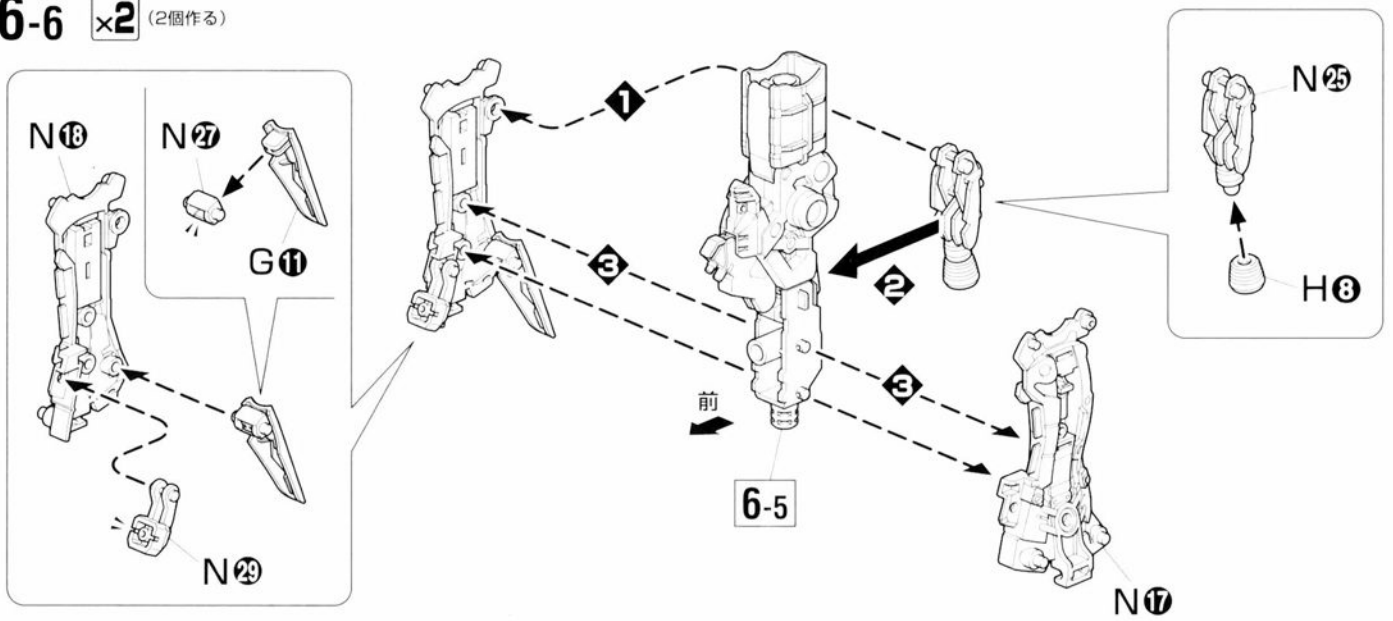
### 6-5

×2 (2個作る)



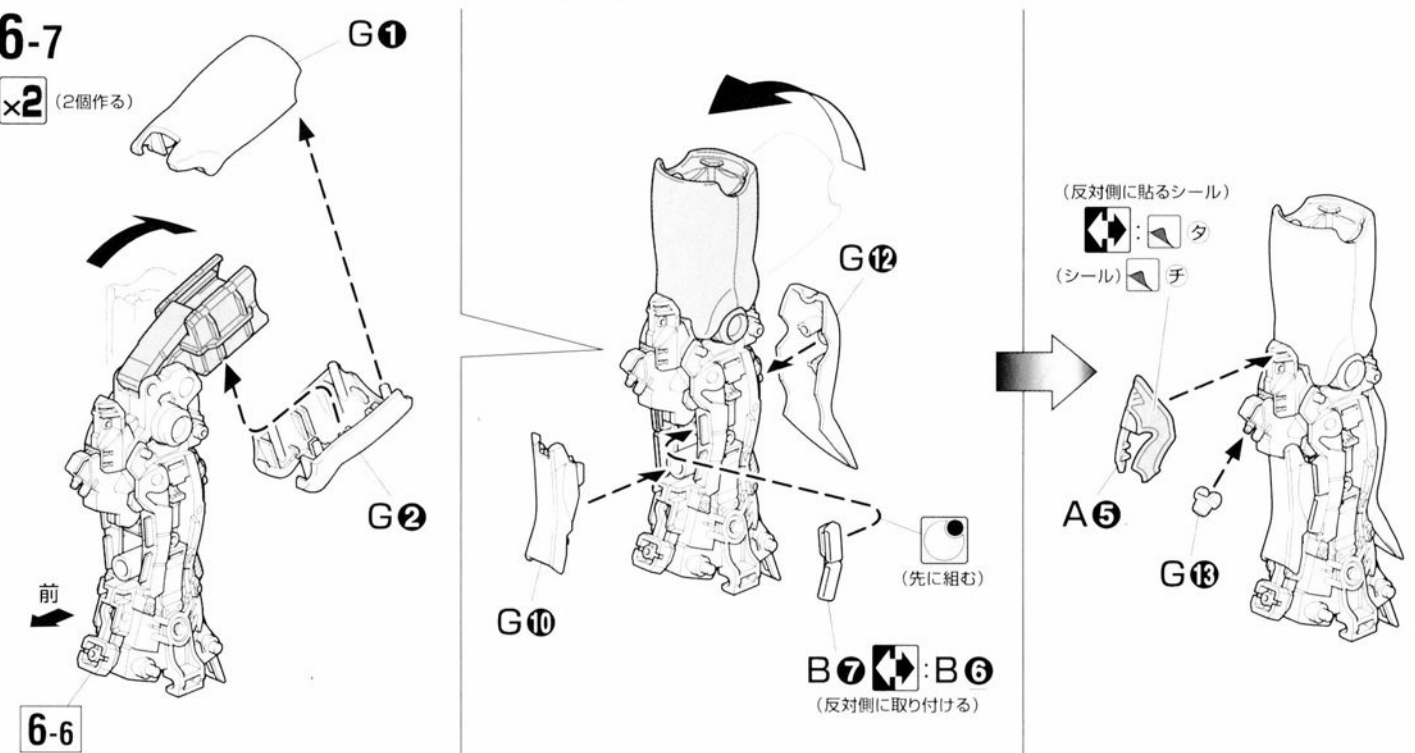
### 6-6

×2 (2個作る)



### 6-7

×2 (2個作る)

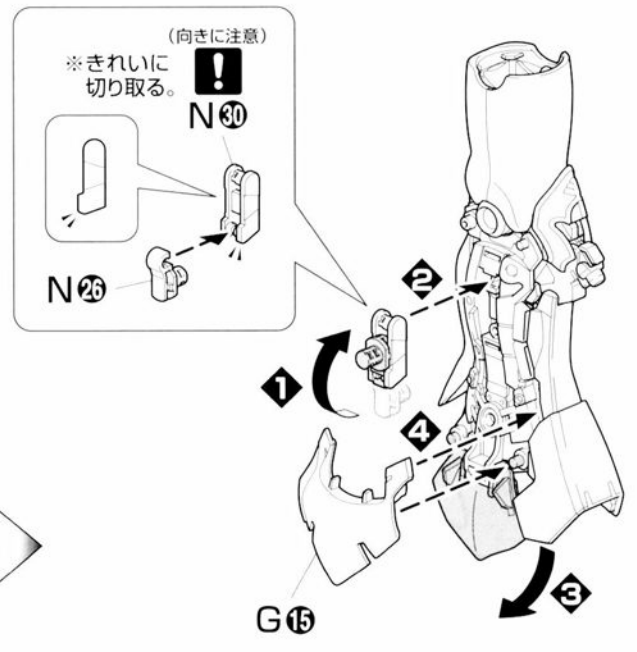
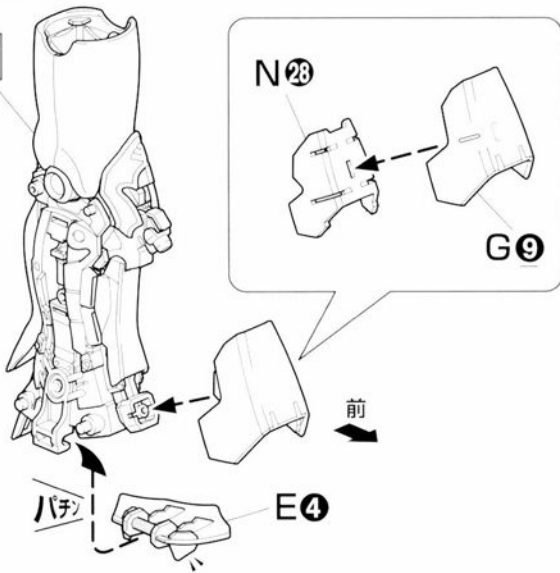




# 6-8 RIGHT LEG

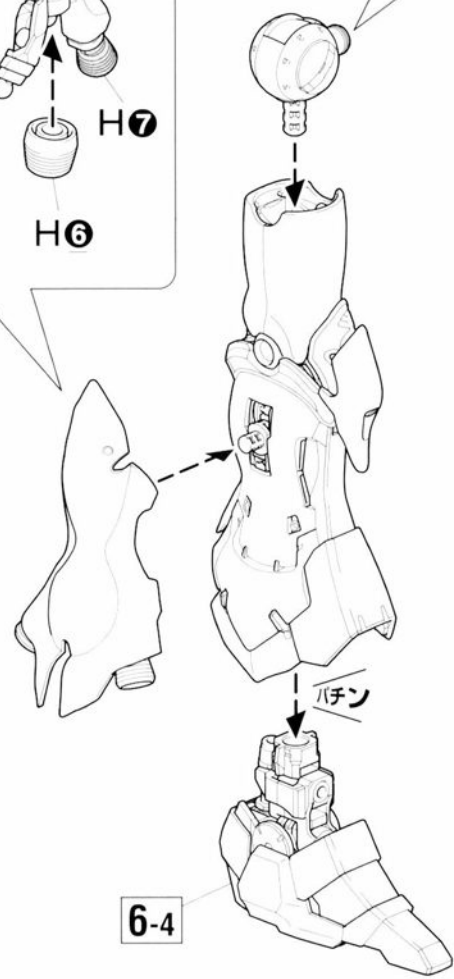
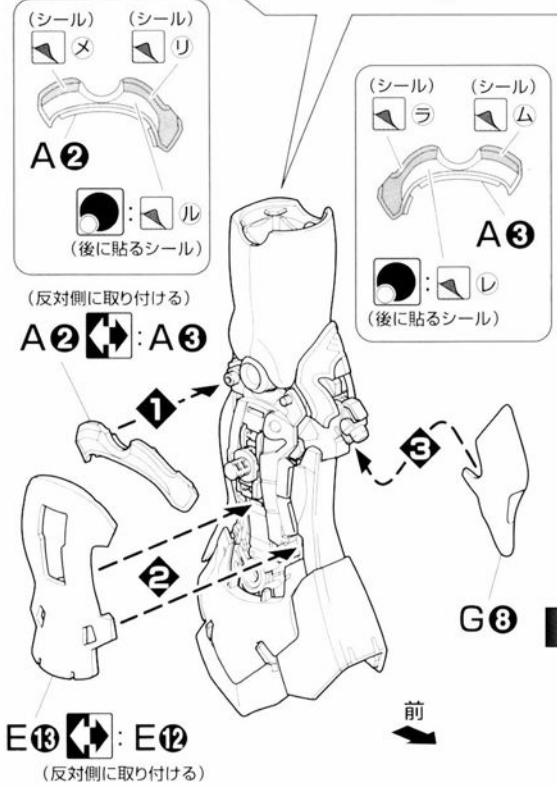
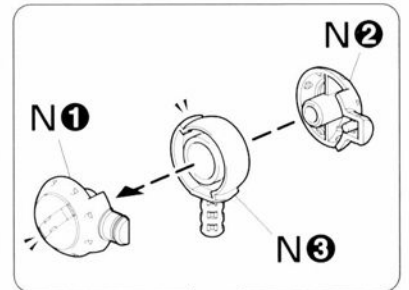
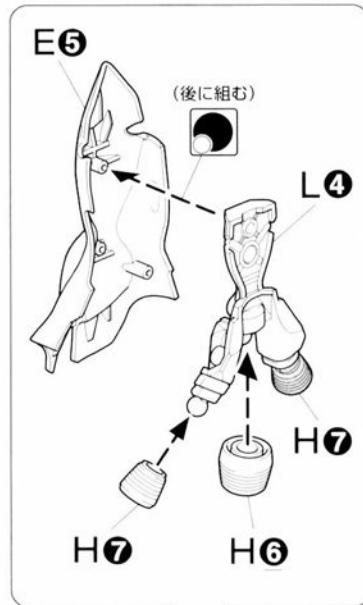
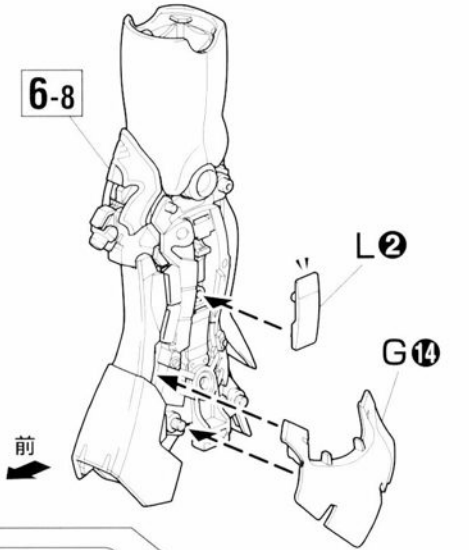
〔右脚の組立〕

6-7



# 6-9

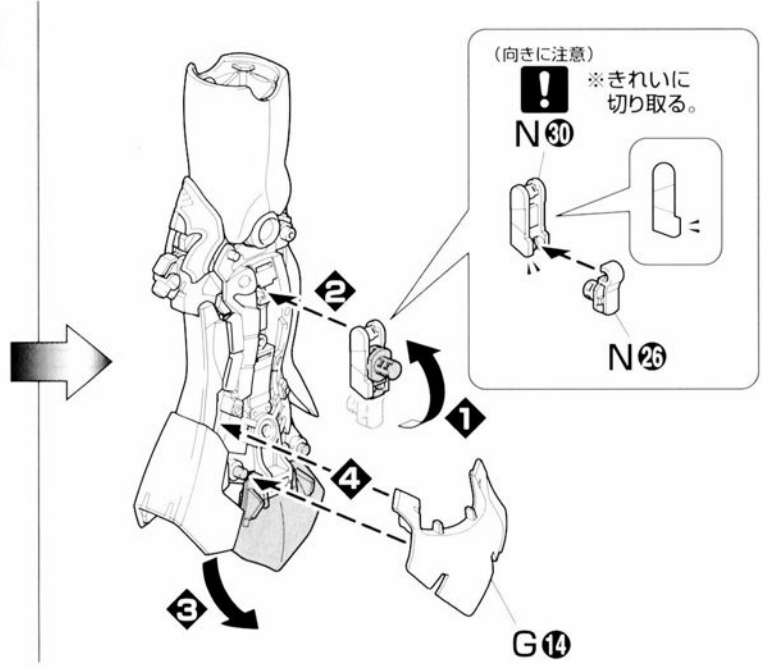
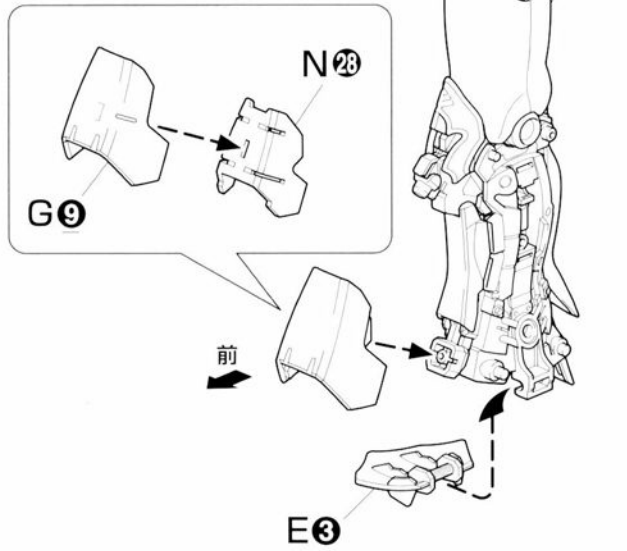
6-8



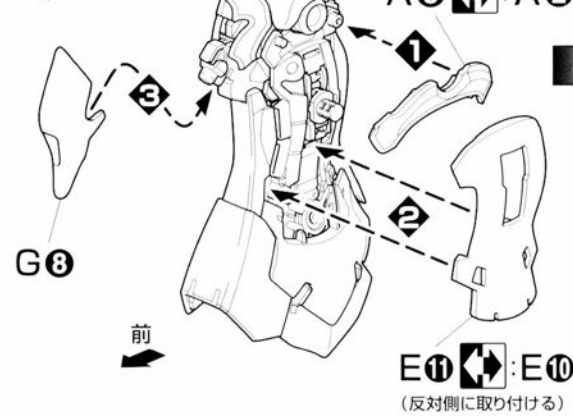
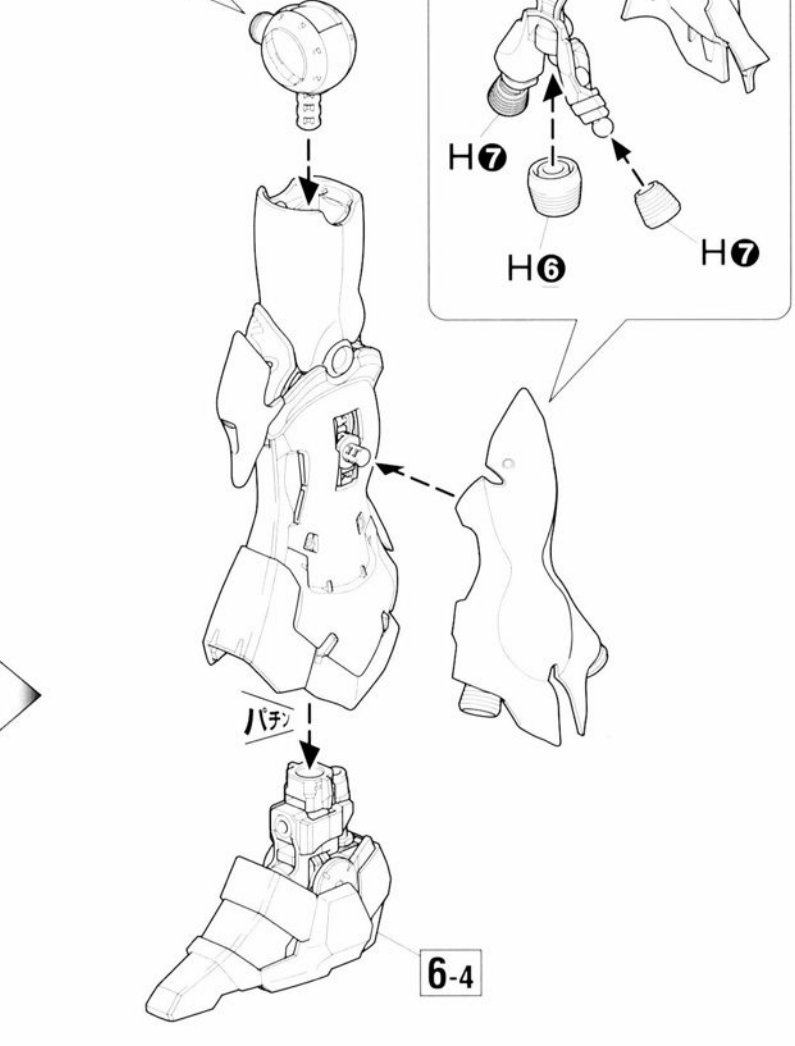
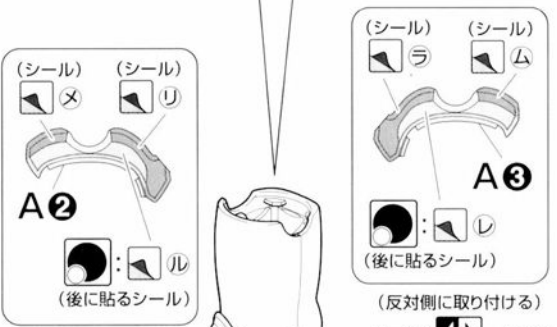
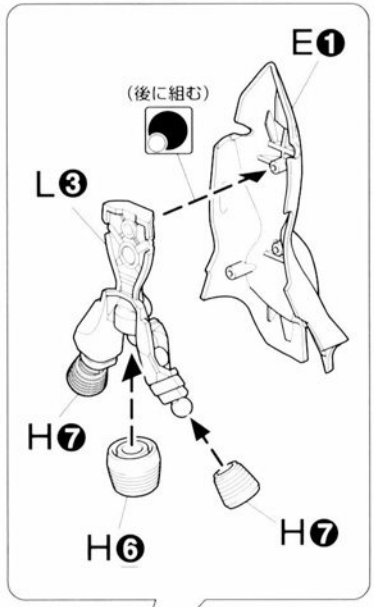
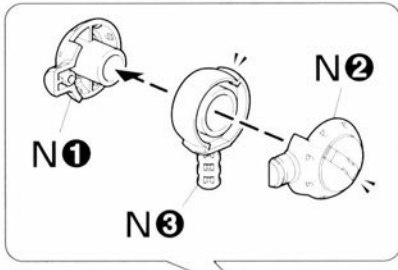
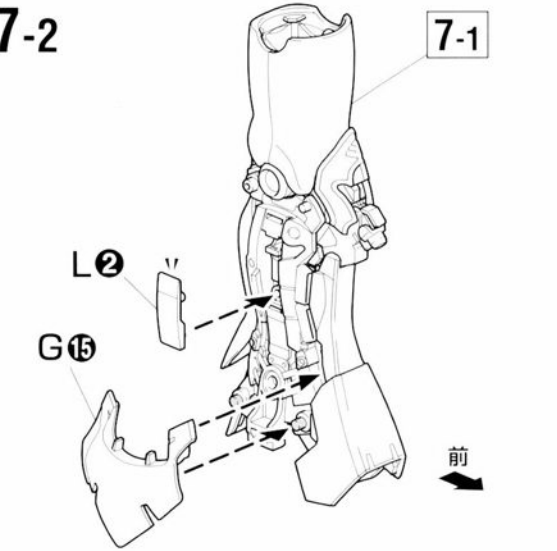


# 7-1 LEFT LEG

(左脚の組立)

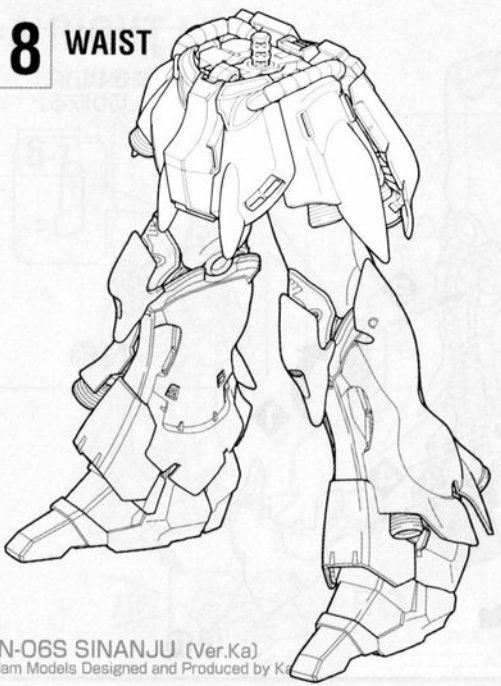


# 7-2





# 8 WAIST



MSN-06S SINANJU (Ver.Ka)  
Gundam Models Designed and Produced by KOTOBUKIYA

## 8-1 WAIST (腰の組立)

※奥までしっかりと、はめ込みます。

D24

K9

K8

K10

K31

※ミゾを合わせて組み立てます。

K1

K2

※ミゾを合わせて組み立てます。

前

## 8-2

K4 ! (向きに注意)

D15

前

D19

8-1

(向きに注意) B11 !

D16

## 8-3

K12

A8

D20

D18

(シール) 目

(シール) ヲ

(シール) ヤ

(向きに注意) B8 !

## 8-4

(シール) ヲ

(シール) ヤ

A9

K11

D17

D21

(向きに注意) B9 !

## 8-5

D23

D26

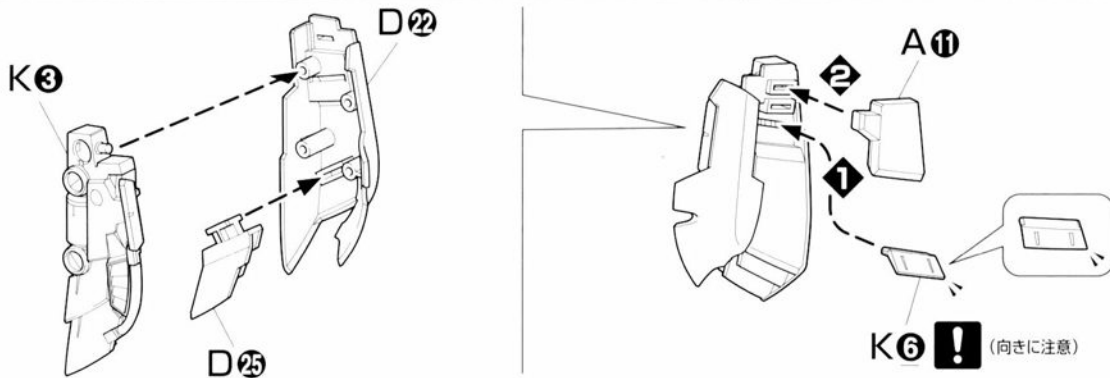
K2

A10

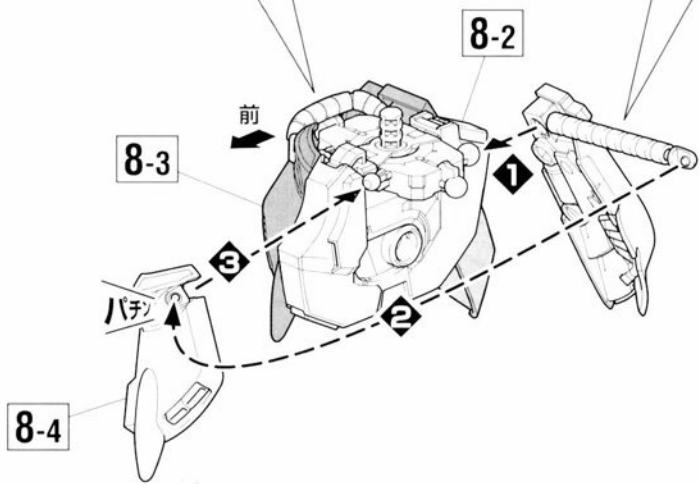
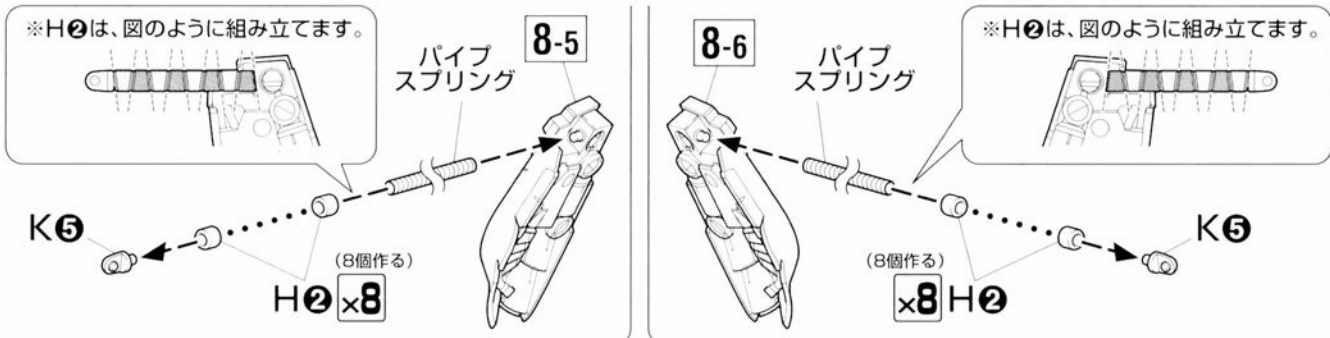
K7 ! (向きに注意)



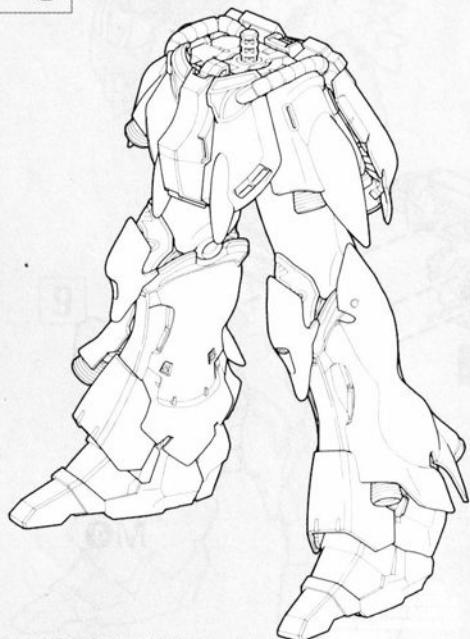
# 8-6



# 8-7



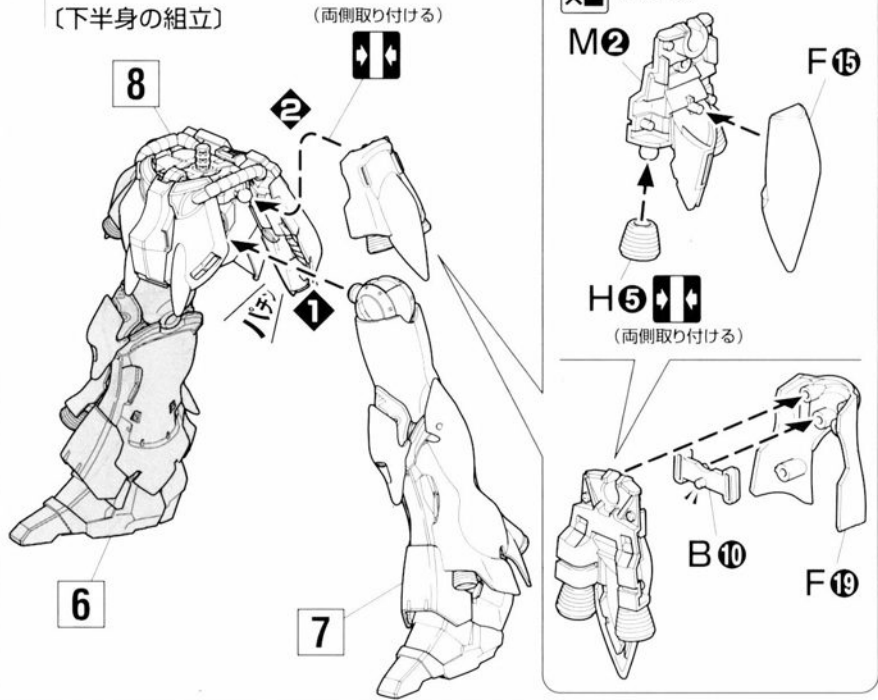
# 9 BOTTOM



MSN-06S SINANJU (Ver.Ka)  
Gundam Models Designed and Produced by Ka

# 9 BOTTOM

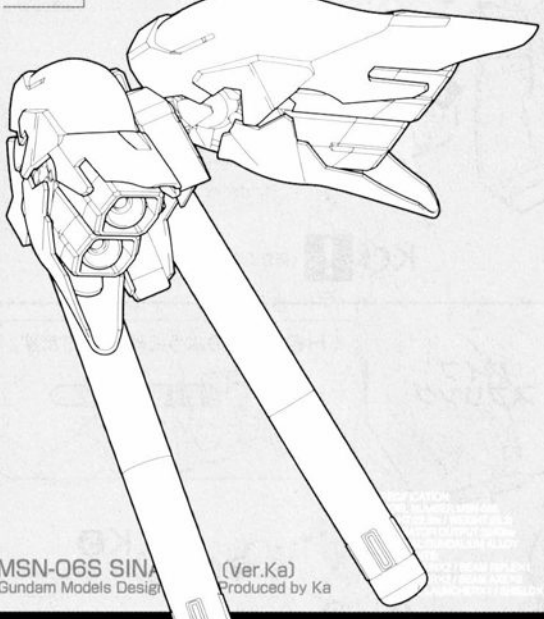
〔下半身の組立〕



PARTS LIST BODY HEAD ARMS UPPER BODY LEGS WAIST BOTTOM BACK PACK BODY ASSEMBLY WEAPONS WEAPON EQUIPMENT



# 10 BACK PACK

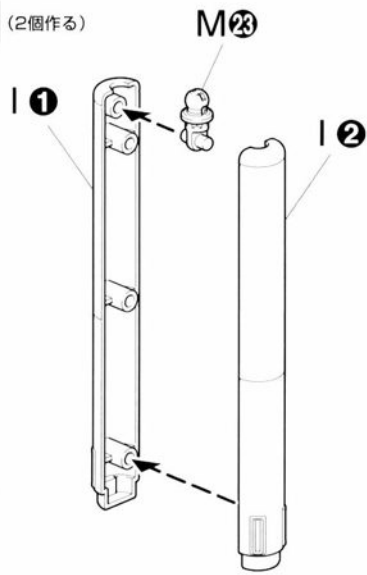


MSN-06S SINARQUE (Ver.Ka)  
Gundam Models Design Produced by Ka

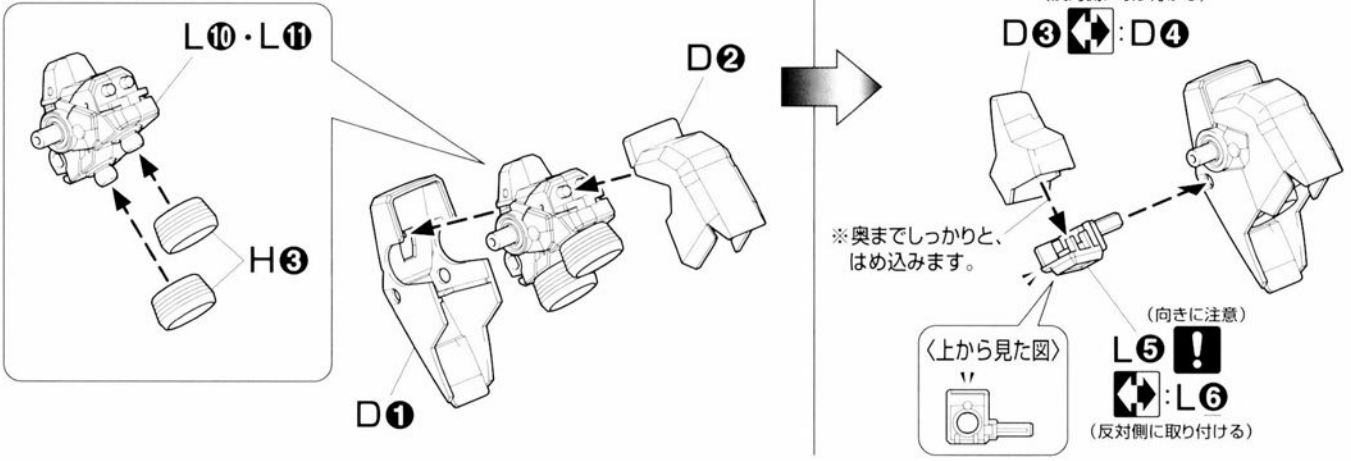
## 10-1 BACK PACK

〔バックパックの組立〕

×2 (2個作る)

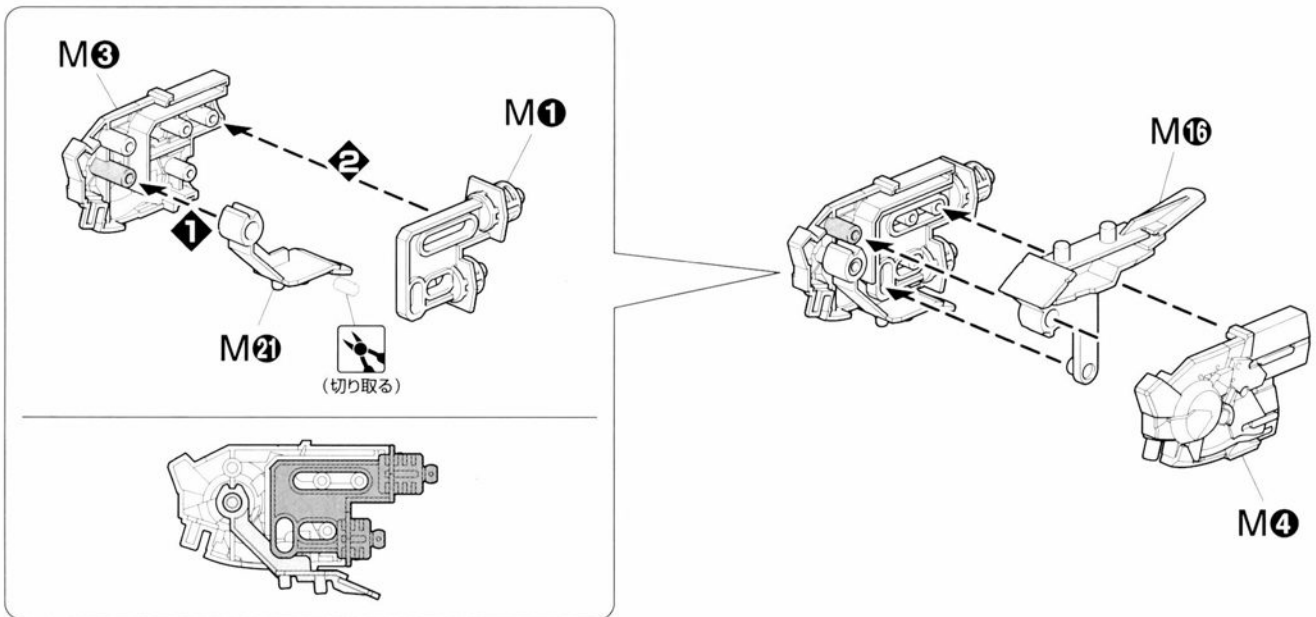


## 10-2

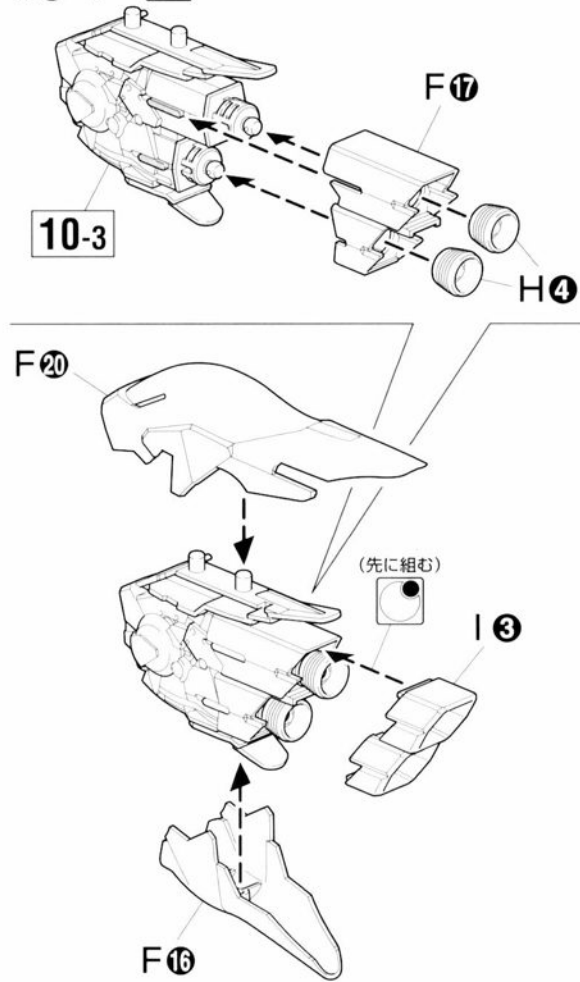


## 10-3

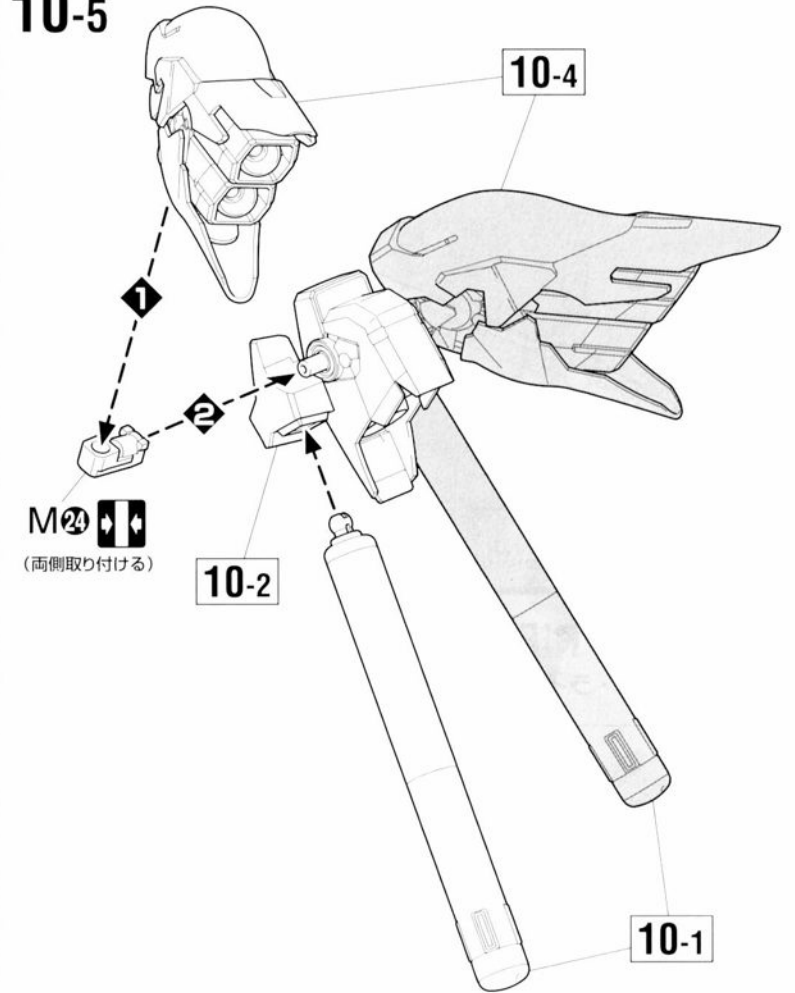
×2 (2個作る)



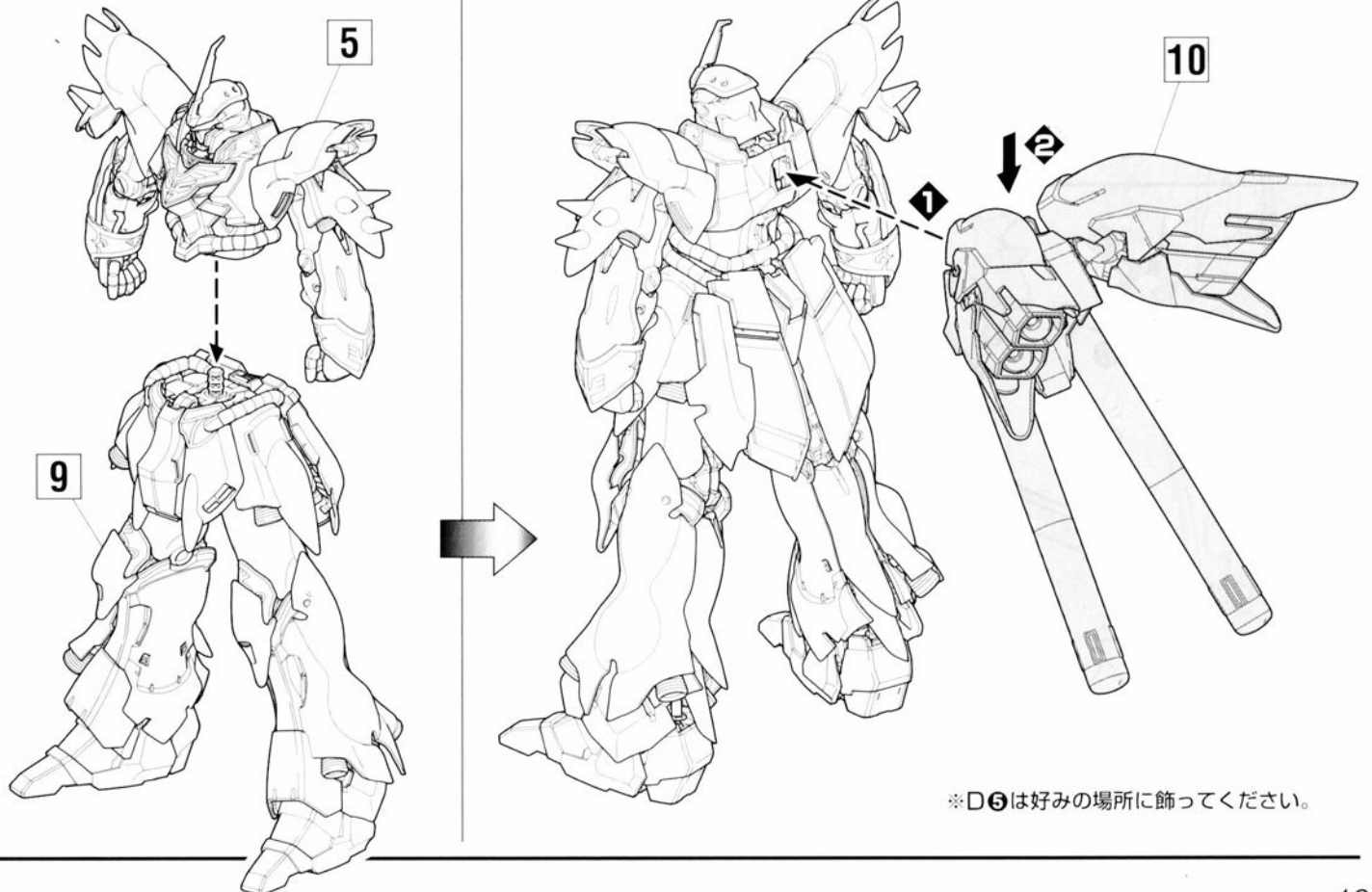
### 10-4 x2 (2個作る)



### 10-5



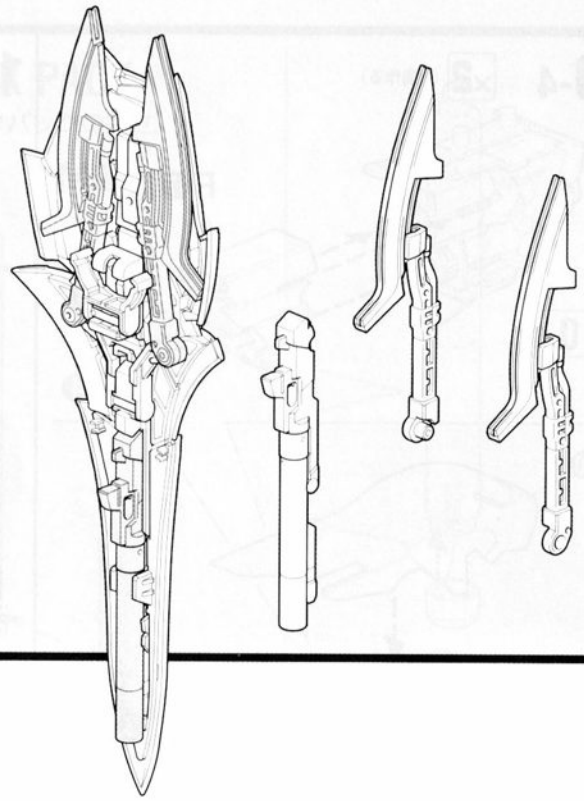
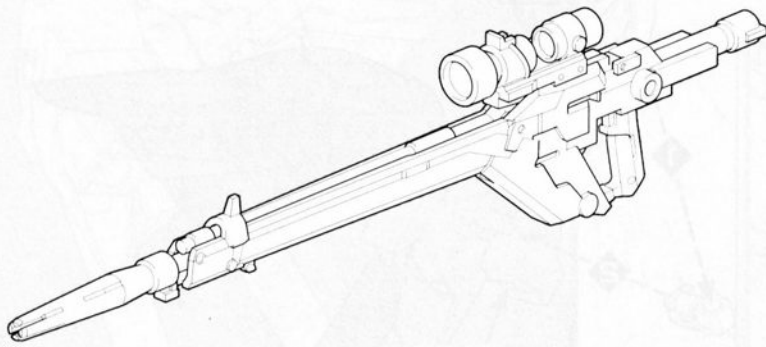
## 11 BODY ASSEMBLE



※D6は好みの場所に飾ってください。



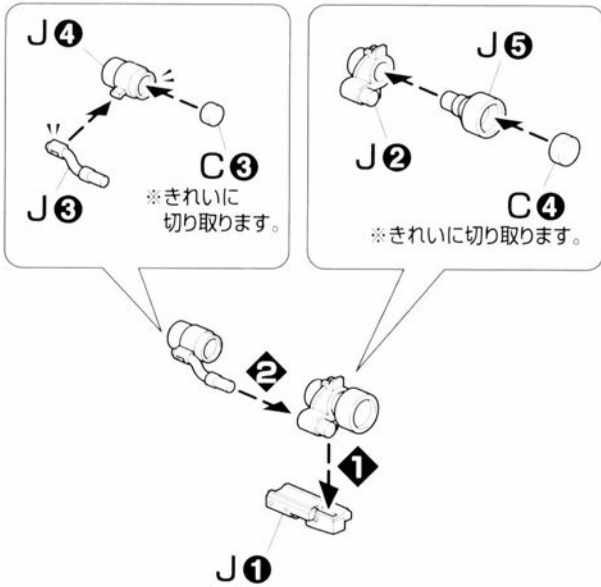
**12** BEAM RIFLE **13** SHIELD **14** BEAM AXE



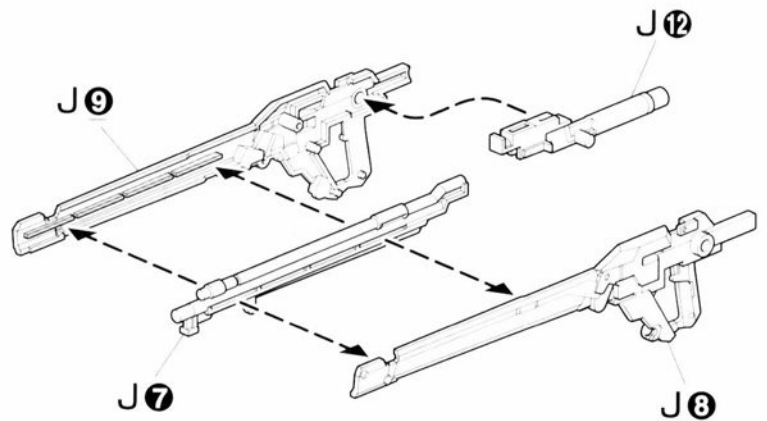
MSN-06S SINANJU (Ver.Ka)  
Gundam Models Designed and Produced by Ka

**12-1** BEAM RIFLE

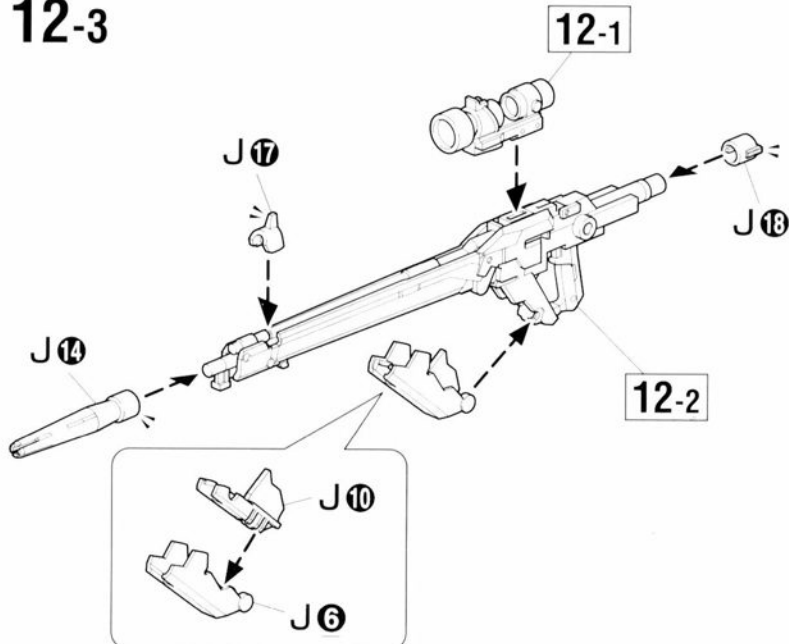
(ビーム・ライフルの組立)



**12-2**

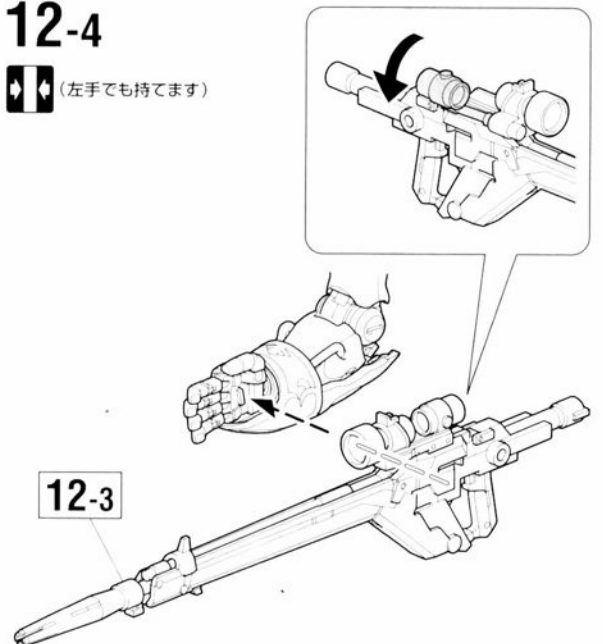


**12-3**



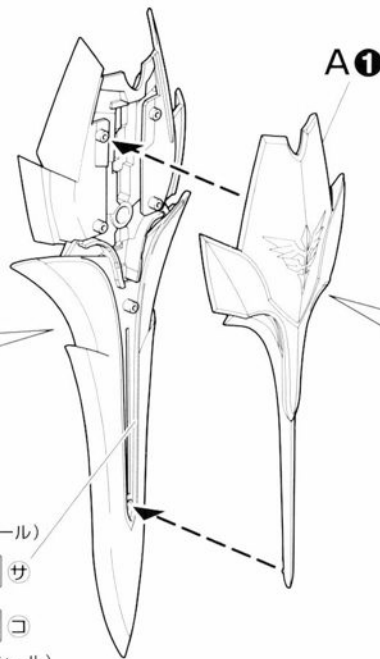
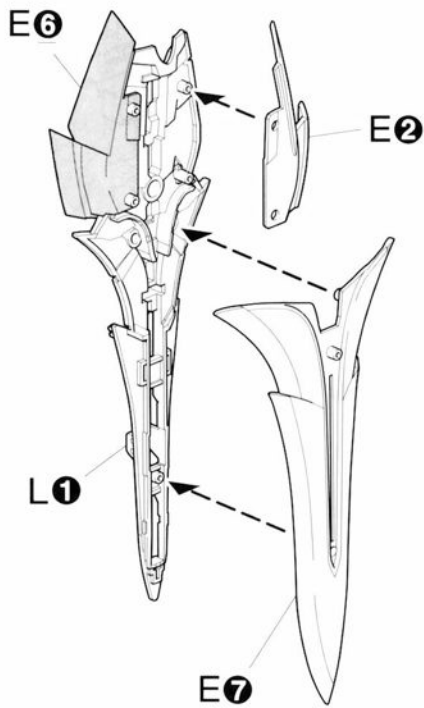
**12-4**

(左手でも持てます)

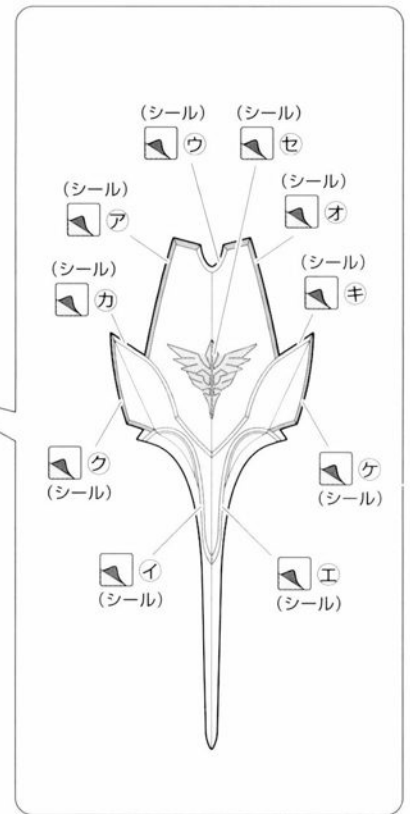


# 13-1 SHIELD

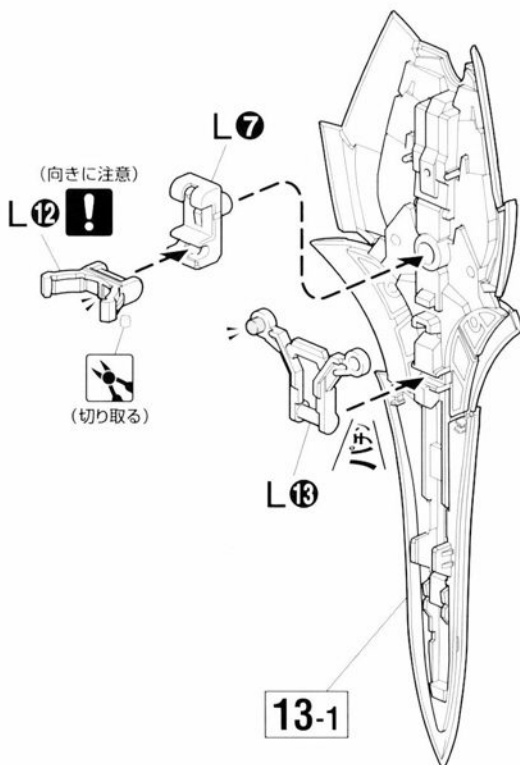
[シールドの組立]



(最後に貼るシール)  
 : サ  
 : コ  
 (反対側に貼るシール)

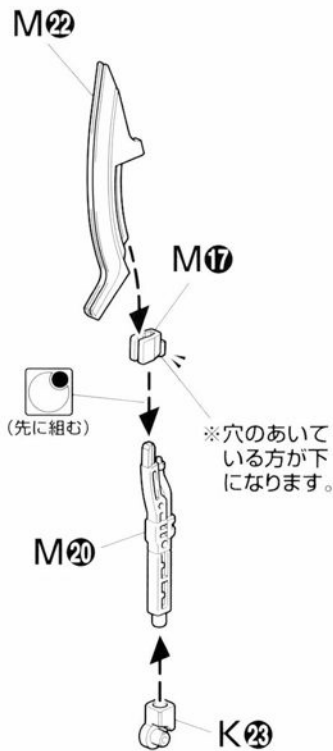


# 13-2

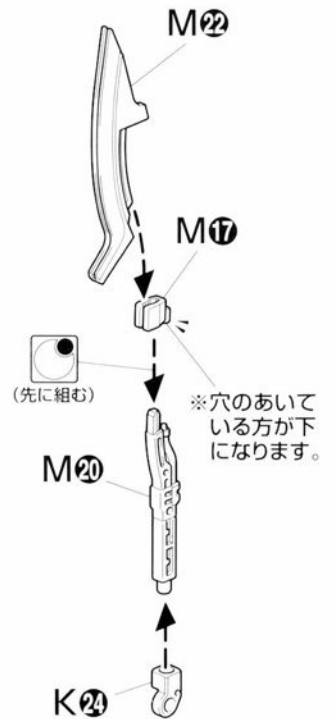


# 14-1 BEAM AXE

[ビーム・アックスの組立]



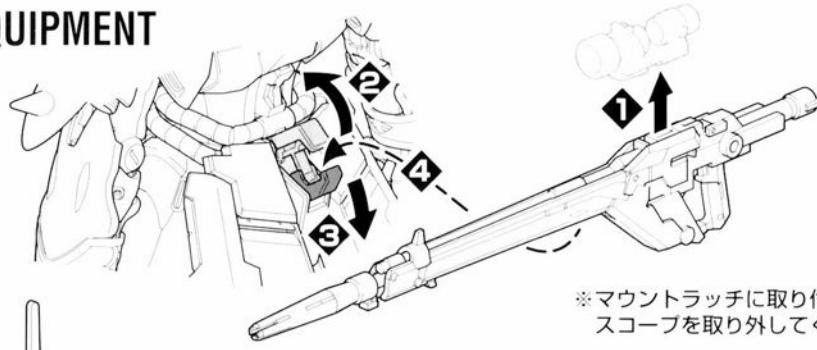
# 14-2





# 15-1 WEAPON EQUIPMENT

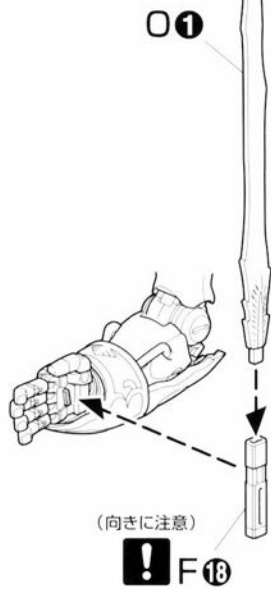
(武器の装備)



※マウントラッチに取り付けるときは、スコープを取り外してください。

# 15-2

(両腕に装備できます)



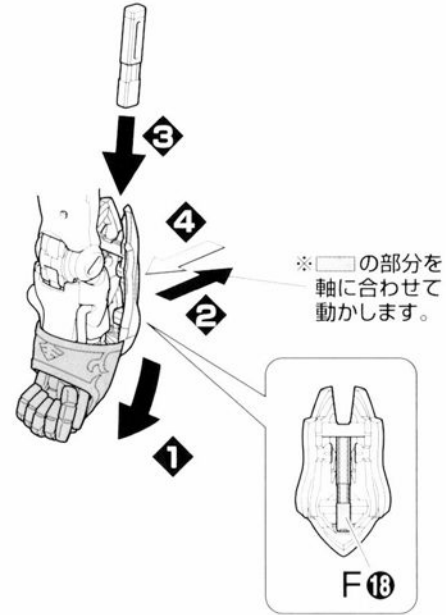
※深い方の穴に差し込んでください。

(向きに注意)

F18

(両腕に装備できます)

(選んで取り付ける)



※□の部分に軸に合わせて動かします。

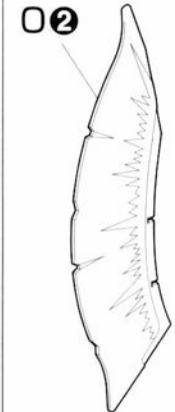
F18

# 15-3

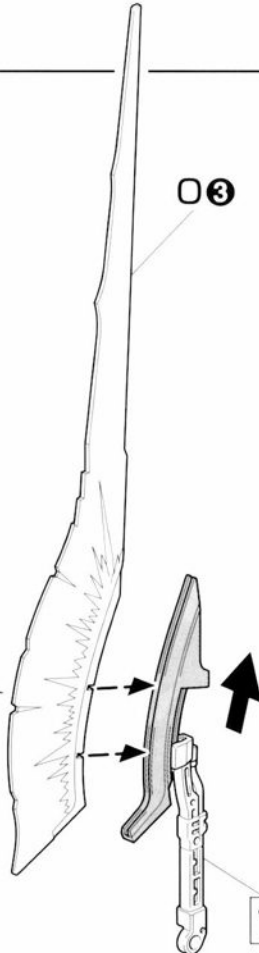
(両腕に装備できます)

(選んで取り付ける)

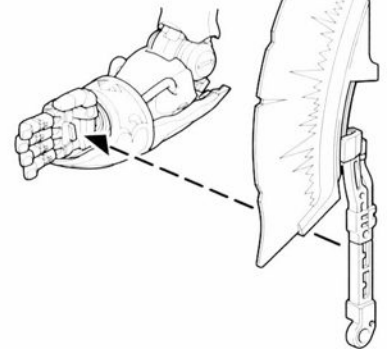
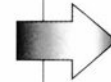
02



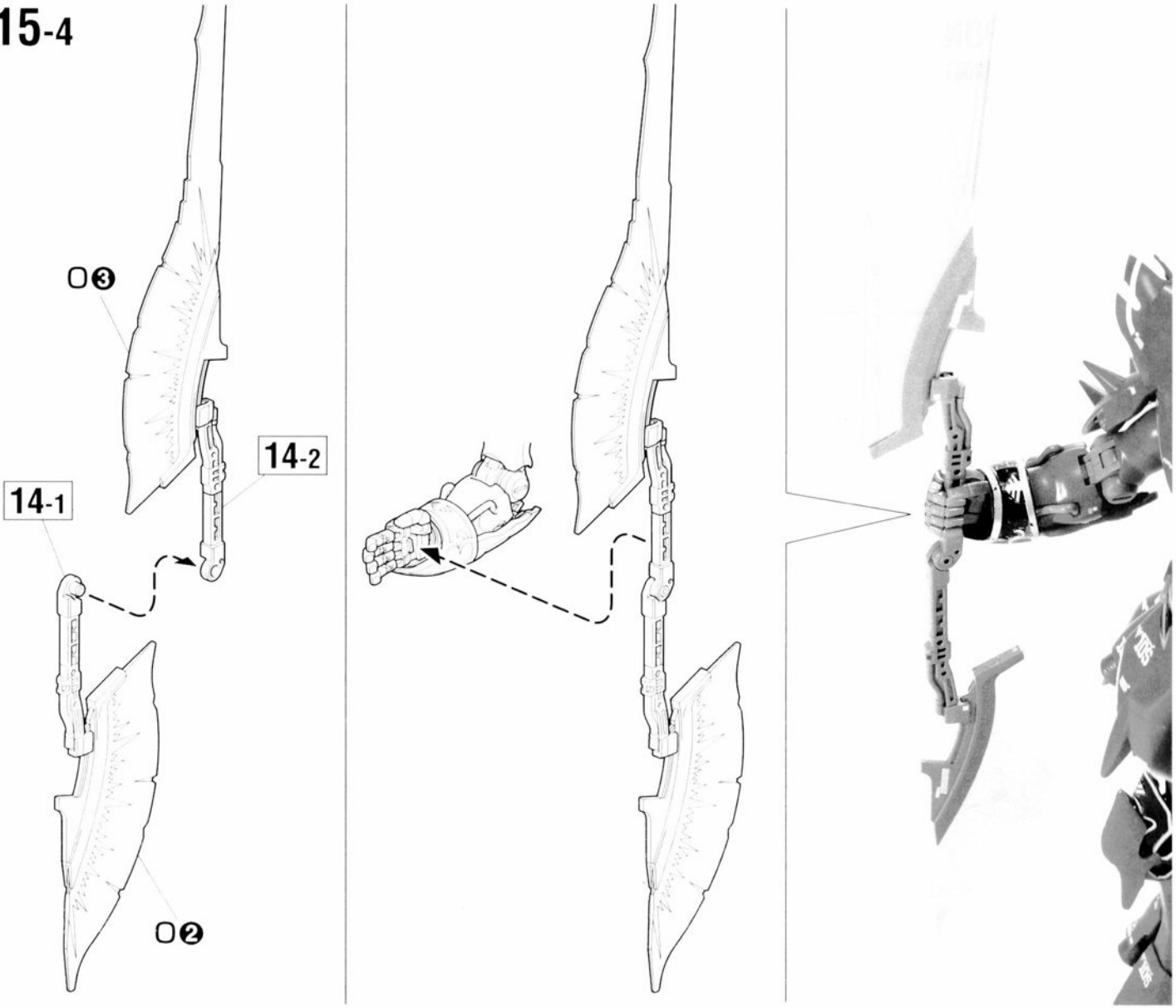
03



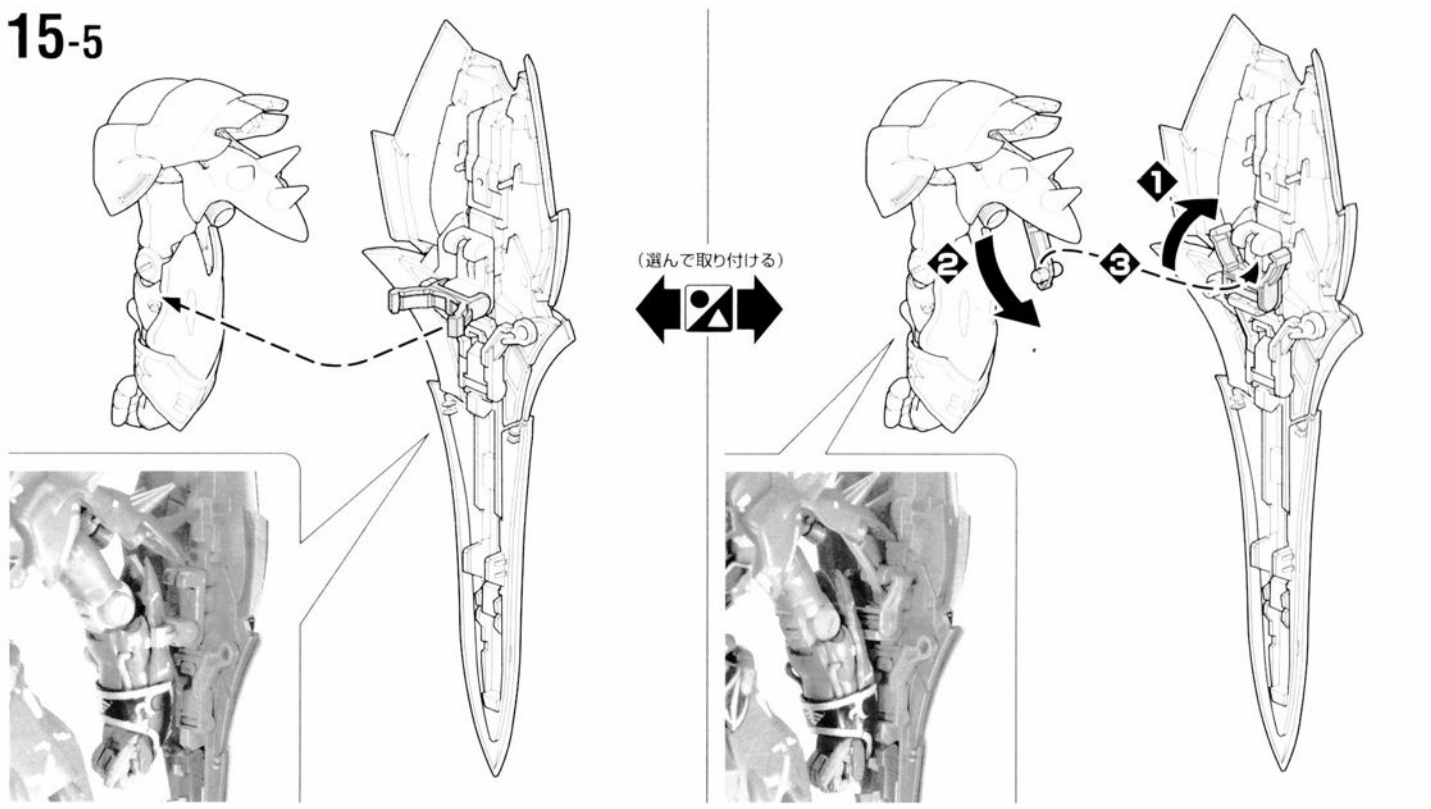
14-1 : 14-2



# 15-4

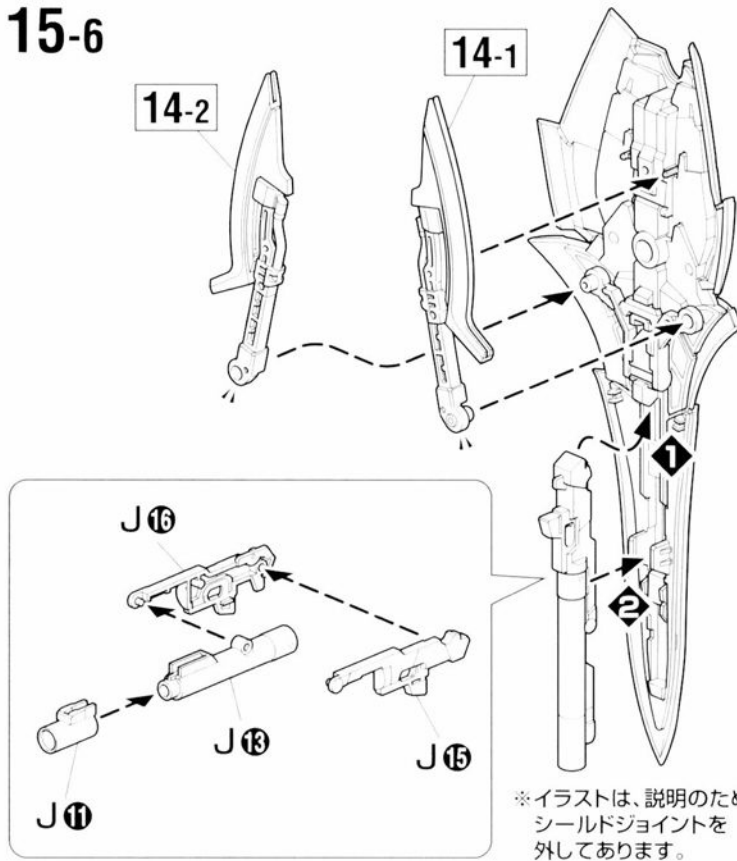


# 15-5

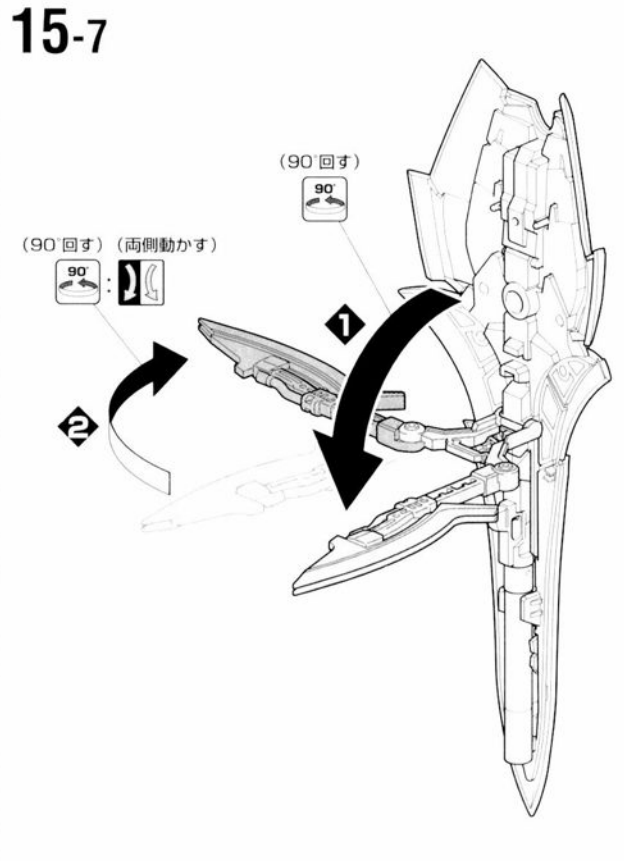




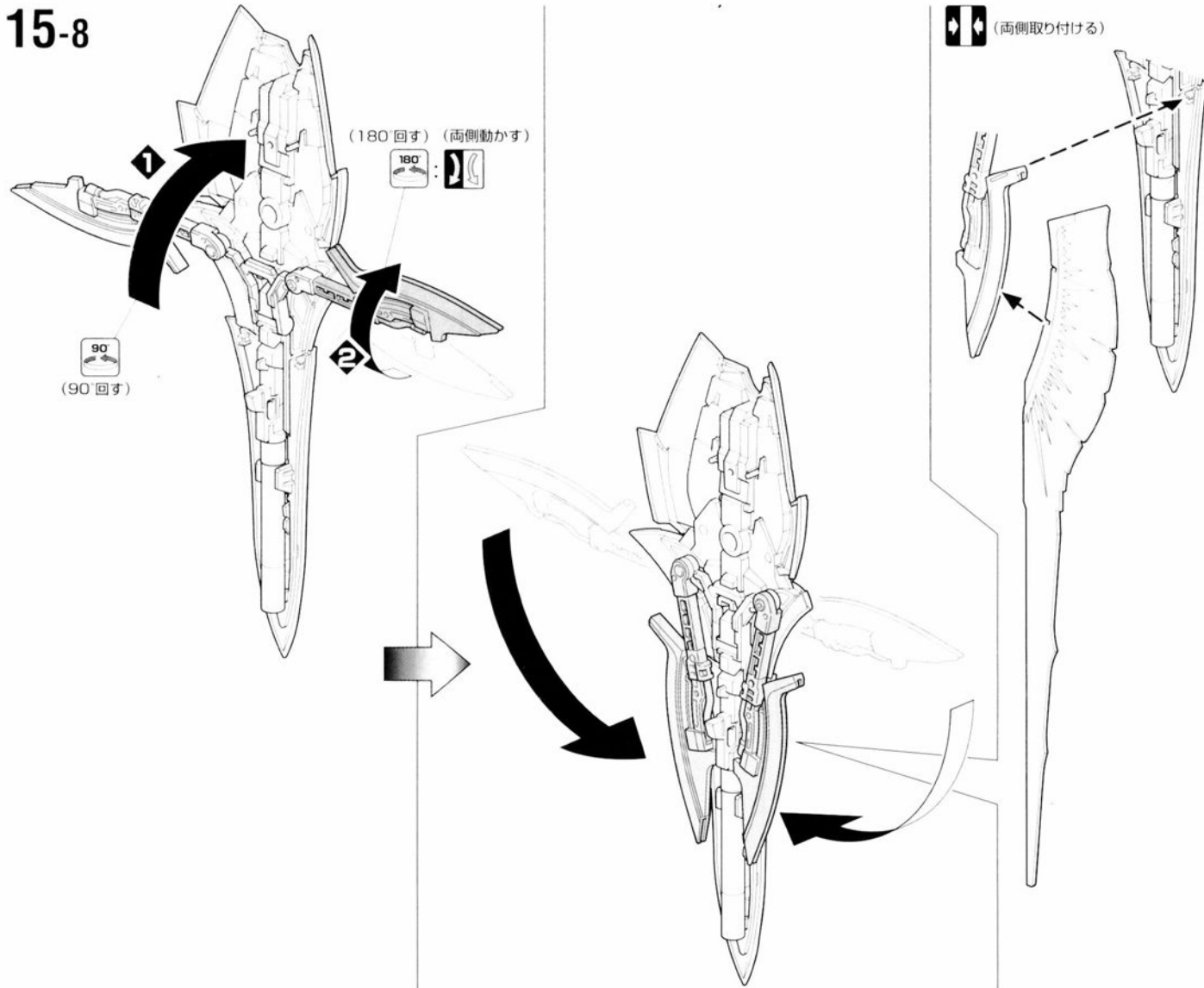
# 15-6



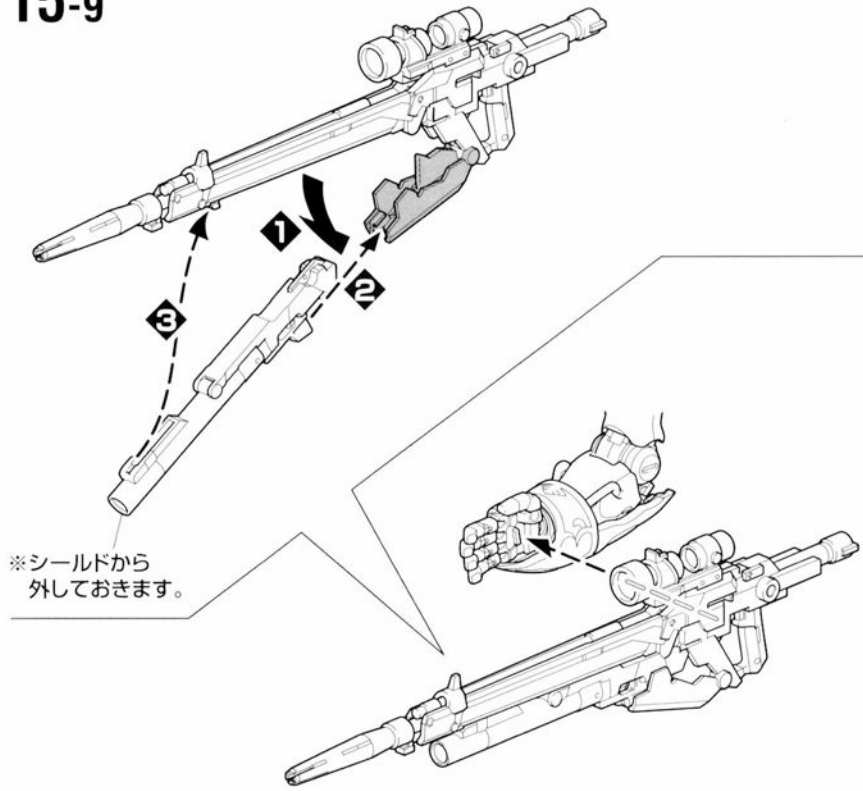
# 15-7



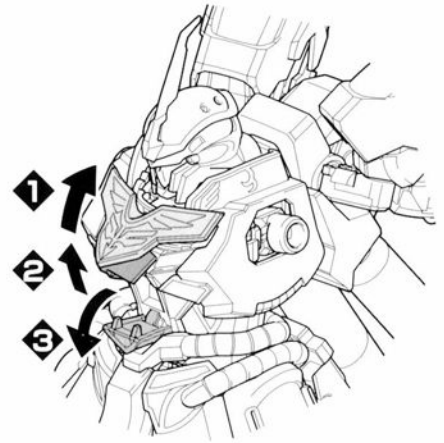
# 15-8



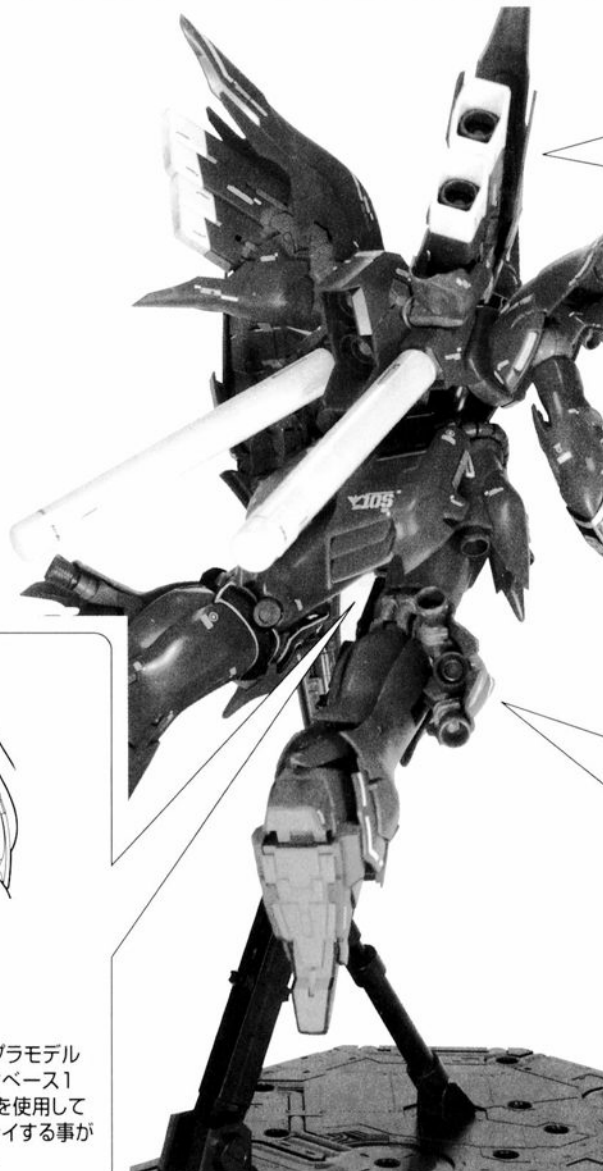
# 15-9




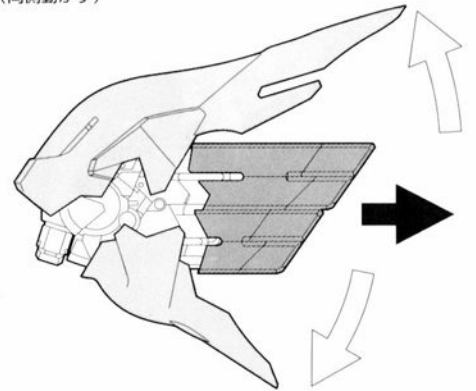
# 15-10



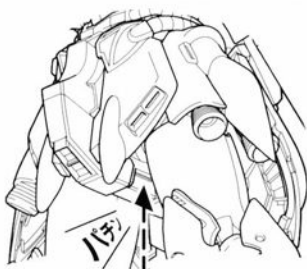
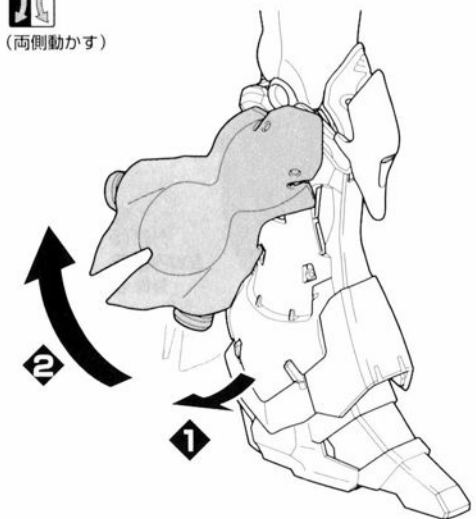
# 15-11



 ※上下のパーツを開くと中央のパーツが矢印の方向にせり出します。  
(両側動かす)



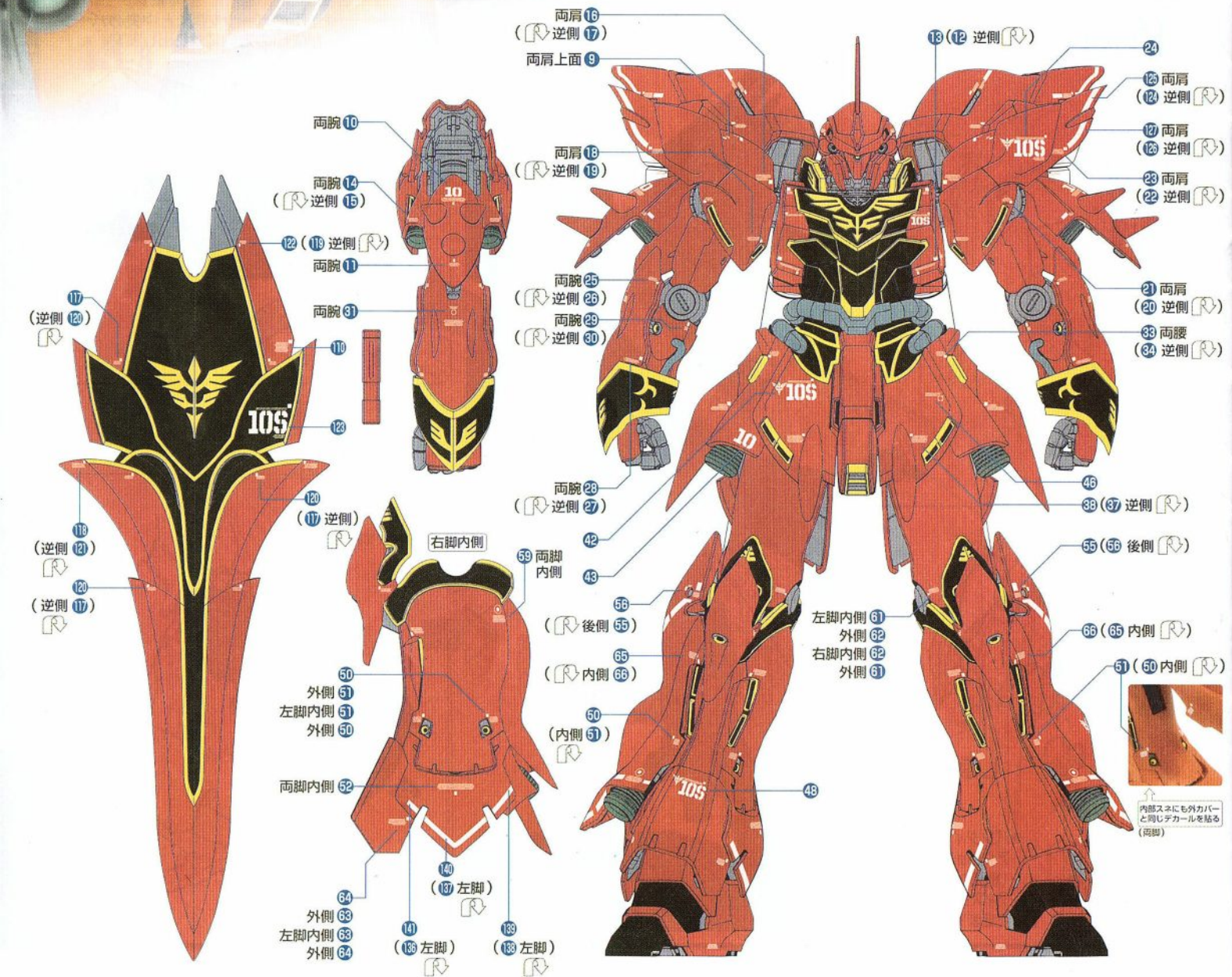
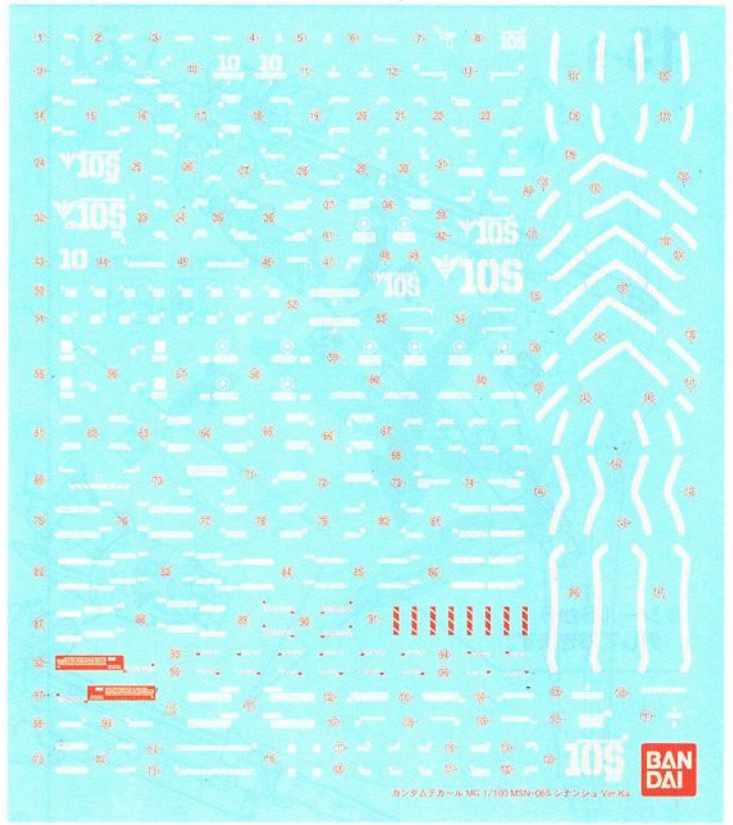
 (両側動かす)



L25

※バンダイプラモデルアクションベース1 (別売り) を使用してディスプレイする事ができます。





↑ 内部スネにも外カバーと同じデカールを貼る (両脚)



**COMPLETE DIAGRAM**  
for painting and applying decals

■ガンダムデカールのはりかた

1. 転写するマークをだまかに切ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペンなどの先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。

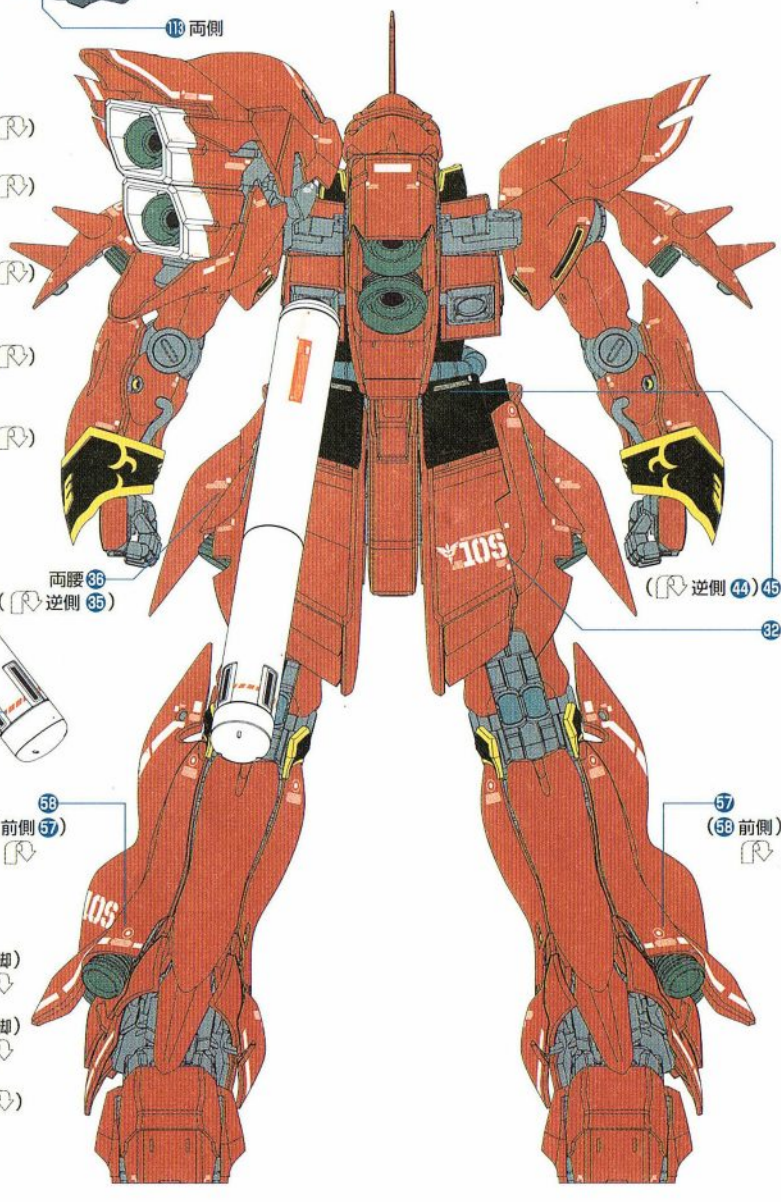
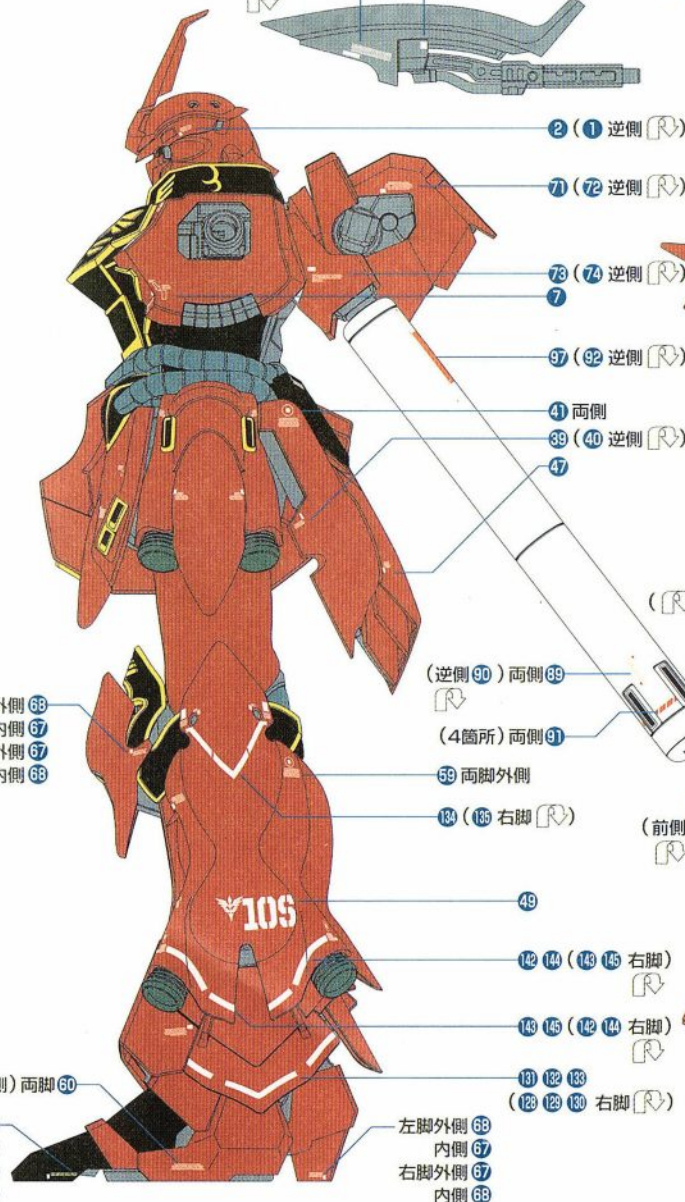
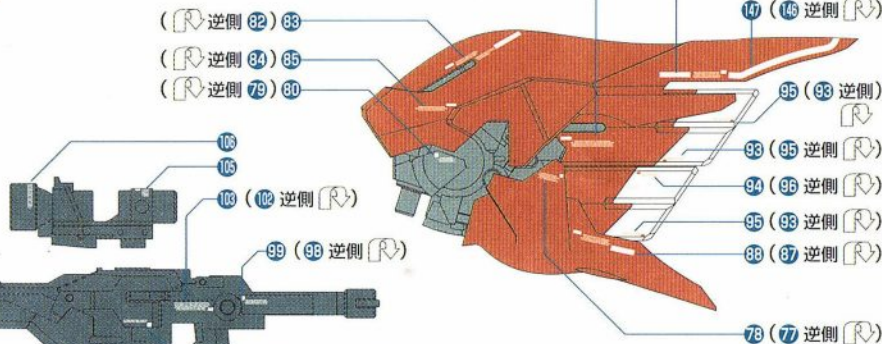
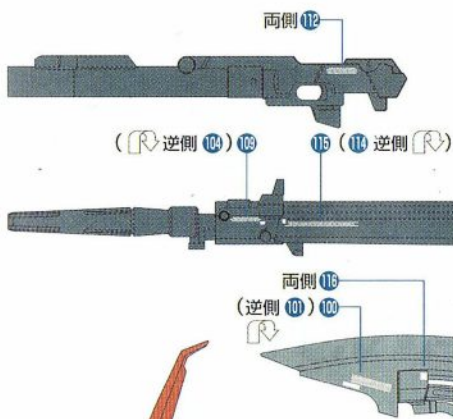
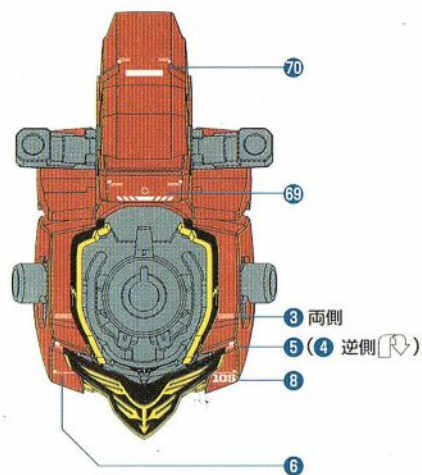
※余ったガンダムデカールは好きな所に貼ってください。

**COLOR CHART**  
used paints and mixture

- 【赤】 モンザレッド65%+レッド30%+ホワイト5%
- 【グレー(関節)】 ニュートラルグレー70%+マホガニー30%
- 【薄いグレー(パイプ)】 ニュートラルグレー100%
- 【黒】 ミッドナイトブルー100%
- 【武器】 ネービーブルー70%+ダークグリーン30%
- 【白】 ホワイト100%
- 【モノアイ】 クリアー70%+クリアブルー20%+クリアイエロー10%
- 【装飾】 ゴールド85%+クリアイエロー15%

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。  
※塗装には、より安全な「水性塗料」の使用をおすすめします。  
※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません  
※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

NEO ZEON MOBILE SUIT  
Gundam Models Designed and Produced by Ka  
**MSN-06S SINANJU**  
"Ver.Ka"





NEO ZEON MOBILE SUIT  
MSN-06S SINANJU  
"Ver.Ka"

MG MSN-06S SINANJU "Ver.Ka"

Instruction making staff

Produce/direction : KATOKI HAJIME  
Edition : TAKAGI SUNAO(GUNDAM A)  
          : OMORI SHUNSUKE(GUNDAM A)  
Design : SAITO DAISUKE  
Writing : MITARAI KOUJI  
Photo : HONDA KEIGO(ENTANIYA)  
Coloring : MATSUMOTO TAKASHI  
Marking : KONNO YUJI(JAM)  
Special thanks : FUKUI HARUTOSHI  
                  : NUMAMOTO MATSUMI  
                  : HOBBY JAPAN